

# Report-7 2016-2015 Takashi Akiyama Poster Museum Nagaoka

The Japan Book Design Award 2015  
**日本ブックデザイン賞2015展**

2015 9/6(日)～9/26(土) 授賞式 9/12(土)

[www.apm-nagaoka.com/bookdesign/](http://www.apm-nagaoka.com/bookdesign/)

主催：秋山孝ポスター美術館長岡 (APM)

協賛：北越紀州製紙株式会社





日本ブックデザイン賞2015授賞式 表彰状授与 (左)グランプリ受賞・大町駿介、(右)秋山孝館長 2015年9月12日

## ごあいさつ

## 秋山 孝

秋山孝ポスター美術館長岡・館長  
多摩美術大学・教授

秋山孝ポスター美術館長岡 (APM) は、2016年7月9日で創立7周年を迎える。APMの活動は、国際的なものになってきた。それはボリビア国際ポスタービエンナーレ2015「日本のイラストレーションポスター展 ～CALTEL ILLUSTRADO EN JAPÓN」で、APM news 145号に報告を記してある。このコレクションは、2005年多摩美術大学創立70周年記念事業の一環として「東方のイラストレーションポスター 中国・韓国・日本」という共同研究を立ち上げたことから始まった。ほとんどが秋山孝の長年のポスターコレクションによって実現できたものである。その中の日本のイラストレーションポスターから50点選び、ボリビア国際ポスタービエンナーレ委員会に貸し出した。その内容は、日本のポスターの歴史を垣間見るものとなっている。APMの3本柱のひとつである、研究の成果がここに実現できた。

2つめの出来事は、APM news 133号と144号に記されている通り「日本ブックデザイン賞2015」のコンペティションが開催され、展示し、発表することができたことだ。A4サイズ120ページフルカラーがんだれ(小口折)表紙のカタログも出版できた。北越紀州製紙株式会社に多大な協力を得た。応募総数626点、内訳は一般部門232点、学生部門394点である。審査は、審査員長の秋山孝(多摩美術大学 教授)、審査員の太田徹也(元武蔵野美術大学、東京藝術大学 講師)、大迫修三(日本グラフィックデザイン協会 事務局長)、澤田泰廣(多摩美術大学 教授)、豊口協(長岡造形大学 前理事長)、中垣信夫(ミームデザイン学校 代表)のメンバーで行った。各賞を決定し、APMの会場で発表した。授賞式およびオープニングレセプションは、2015年9月12日(土)に快晴のもとに宮内摂田屋がもっている越後独特の雪国の街並みの中にあるAPM展示場で盛大に催された。全国から入選者たち関係者が集まった。

3つめは、APMの建物を登録有形文化財に登録するよう、国の文化審議会が文部科学省に答申したことだ。これは2016年3月12日付新潟日報・朝日新聞に掲載され、またテレビ取材など多方面から取材を受けた。APMの建物は1925年(大正14)に豪雪地帯で活躍したフレンチトラスト(鉄骨造)を持つ鉄筋コンクリート造の建造物で、銀行として建築された。第二次大戦空襲の火災にも遭遇し、度々起こってきた地震災害にも耐え2009年に美術館としてオープンした。築後90年を越え、この地域の歴史と共に残る建物だ。宮内・摂田屋地域は、旧三国街道沿いに発展した歴史と文化が多く残る町だ。摂田屋は機那サフラン酒本舗をはじめ、古くから醸造業で栄えた町だ。多くが今でも変わらぬ姿で営業を続け、昔ながらの景観を残している。「醸造の街」として街おこしが盛んに行われ、多くの観光客が訪れている。宮内も懐かしさを感じる雁木通りの商店街もあり、大正・昭和の風情が漂う地域である。

APMは、1-作品展示(アーカイブ)、2-研究、3-教育を活動目的にしている。そのため2016年度も日本ブックデザイン賞2016をはじめ、企画展、美術館大学、博物館実習、課外授業、ワークショップなどの充実をはかり、社会貢献を実践し実現する。法人会員、終身会員、特別サポート会員、サポート会員、一般会員によるサポーターズ倶楽部の皆様に感謝するとともに、ご報告いたします。



豊口協  
APM運営委員会会長

神林茂  
公益財団法人  
長岡市芸術文化振興財団  
専務理事

谷口喜三雄  
北越紀州製紙株式会社  
長岡工場長

森民夫  
長岡市長

水流潤太郎  
長岡造形大学理事長

牧野忠昌  
APM運営委員会倶楽部会長

日本ブックデザイン賞2015授賞式 スピーチ 2015年9月12日



# APM news 125

## 秋山孝ポスター美術館 長岡

歴史的建造物・金庫扉と雁木のある美術館(旧北越銀行宮内支店)



〒940-1106 新潟県長岡市宮内2-10-8  
TEL 0258-39-1233

新作ポスター解説 秋山孝長岡コレクション 「マイ・スキップ」連載記事 2015年2月号 vol.169  
25周年記念「第13回メキシコ国際ポスタービエンナーレ」

### 秋山孝長岡コレクション 152

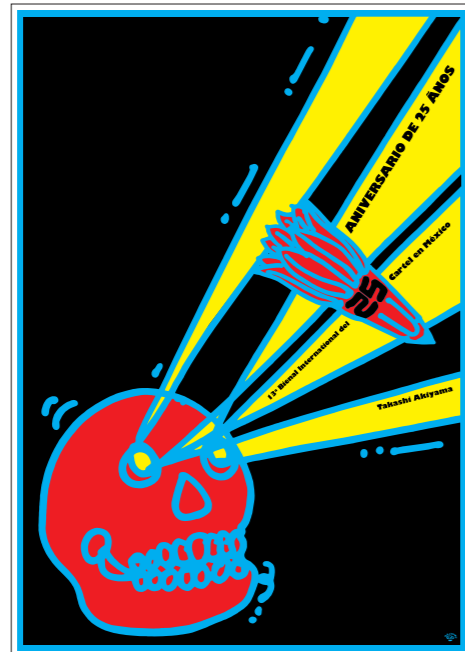
長岡出身の秋山氏が自作を語る・マイスキップ誌上展  
<http://www.tamabi.ac.jp/gurafu/akiyama/>



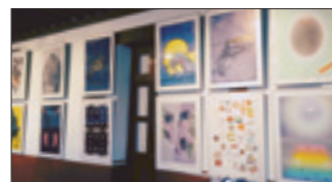
秋山 孝 多摩美術大学教授・秋山孝ポスター美術館長岡/館長  
1952年長岡市生まれ。上組小学校、宮内中学校、長岡商業高等学校、多摩美術大学卒業。東京藝術大学大学院修了。1986年、自然保護ポスター「WILD LIFE+HELP」でワルシャワ国際ポスタービエンナーレ・金賞を受賞し、1998年、インド核実験反対のポスターで国連賞を受賞する。他、各国のビエンナーレにおいて多数受賞。フィンランド、メキシコ、イタリア、ウクライナ、中国、アメリカ、ポーランドで国際ポスター展の審査員として招聘される。著書に「Chinese Posters」(朝日新聞出版)、「イラストレーションスタディーズ」(玄光社)他多数。



秋山孝ポスター美術館長岡  
<http://apm-nagaoka.com/>



メキシコ国際ポスタービエンナーレ組織委員会の委員長、ハビエル・ベルムデス(Xavier Bermudez)から25周年記念「第13回メキシコ国際ポスタービエンナーレ」のポスターデザインの依頼を受けた。ぼくは、1992年、第2回ビエンナーレで栄誉賞を受賞してから現在まで長い付き合いをしている。そのおかげでメキシコに出かけることが多く個展、審査員や講演などを行って来た。メキシコの友人たちと親交を深め芸術や文化に触れラテンアメリカの虜になった。今回のポスターデザインは、メキシコ、ラテンアメリカのセンスと色彩を遺憾なく活かすことができたと思っている。祖先のガイコツを身近に飾る習慣を持つ死者の祭りをデザインの中に取り入れた。おおらかさがメキシコを現している。



(上) 第13回メキシコ国際ポスタービエンナーレ/会場風景  
(下) オープニングレセプション/2014年10月27日

[Title] ----- 25周年記念「第13回メキシコ国際ポスタービエンナーレ」  
[Size] ----- 1030 x 728 mm (B1)  
[Technique] --- Offset printing  
[Date] ----- 2014  
[Client] ----- メキシコ国際ポスタービエンナーレ組織委員会  
[Category] --- 文化  
[Idea] ----- 祖先のガイコツを身近に飾る習慣を持つ死者の祭りをデザインの中に取り入れた。おおらかさがメキシコを現している。



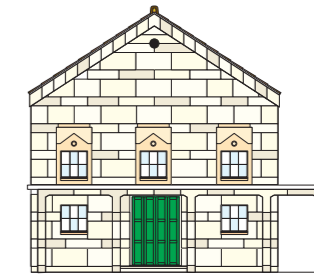
秋山孝ポスター美術館長岡 現在、冬期休館中です。  
春4月18日(土)より、「イラストレーション・ダイアログ6年間の試み」展が始まります。  
Tel, Fax: 0258-39-1233 E-mail: info@apm-nagaoka.com

CLOSE

# APM news 126

## 秋山孝ポスター美術館 長岡

歴史的建造物・金庫扉と雁木のある美術館(旧北越銀行宮内支店)



〒940-1106 新潟県長岡市宮内2-10-8  
TEL 0258-39-1233

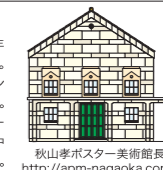
新作ポスター解説 秋山孝長岡コレクション 「マイ・スキップ」連載記事 2015年3月号 vol.170  
地震津波 - Earthquake Japan

### 秋山孝長岡コレクション 153

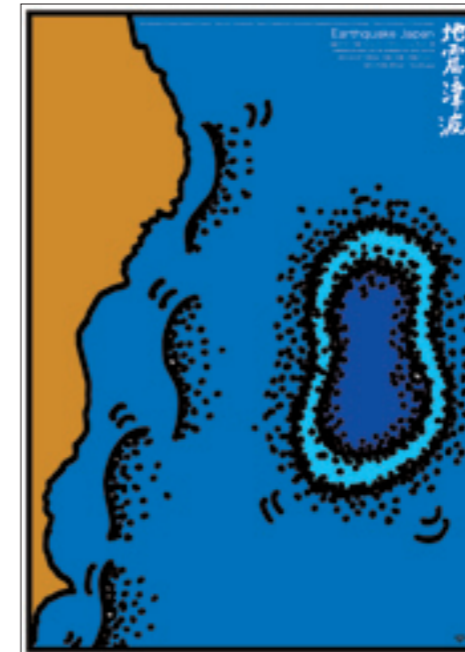
長岡出身の秋山氏が自作を語る・マイスキップ誌上展  
<http://www.tamabi.ac.jp/gurafu/akiyama/>



秋山 孝 多摩美術大学教授・秋山孝ポスター美術館長岡/館長  
1952年長岡市生まれ。多摩美術大学卒業。東京藝術大学大学院修了。2009年「秋山孝ポスター美術館長岡」、2013年「秋山孝ポスター美術館長岡・蔵」が完成。1986年、自然保護ポスター「WILD LIFE+HELP」でワルシャワ国際ポスタービエンナーレ・金賞を受賞し、1998年、インド核実験反対のポスターで国連賞を受賞。他、多数受賞。フィンランド、メキシコ、イタリア、ウクライナ、中国、アメリカ、ポーランド、他で国際ポスター展の審査員として招聘。著書に「Chinese Posters」(中国ポスター) (朝日新聞出版)、「イラストレーションスタディーズ」(玄光社)他多数。



秋山孝ポスター美術館長岡  
<http://apm-nagaoka.com/>



地震ポスター支援プロジェクト・イラストレーションポスター展は、今年で11年目を迎えた。いつも過去を振り返って未来を予測し、それらの記録をポスターの中にメッセージとして発信している。多摩美術大学・東京工芸大学・長岡造形大学・東京工科大学と4大学の共同プロジェクトへと発展した。ポスターは、地震の震源地の海域での現象をデザインした。その場所は、断層のずれによって一瞬水位が下がり、その後山のように隆起し津波となり押し寄せるダイナミックな自然現象を俯瞰した状態を抽象的に描いたものである。誰もが見たことのない想像の世界をビジュアル化した。その現象は自然のどうすることもできないエネルギーとなる。

[Title] ----- 地震津波 - Earthquake Japan  
[Size] ----- 1030 x 728 mm (B1)  
[Technique] --- Offset printing  
[Date] ----- 2014  
[Client] ----- 多摩美術大学イラストレーションスタディーズ  
[Category] --- 社会、教育  
[Idea] ----- 誰もが見たことのない想像の世界。その現象は自然のどうすることもできないエネルギーとなる。



地震ポスター支援プロジェクト 4大学合同展覧会  
(上) 東京工芸大学、(下) 長岡造形大学



秋山孝ポスター美術館長岡 現在、冬期休館中です。  
春4月18日(土)より、「イラストレーション・ダイアログ6年間の試み」展が始まります。  
Tel, Fax: 0258-39-1233 E-mail: info@apm-nagaoka.com

CLOSE

Takashi AKIYAMA Poster Museum Nagaoka 2015-05-01

# APM news 127

## 秋山孝ポスター美術館 長岡

歴史的建造物・金庫扉と雁木のある美術館（旧北越銀行宮内支店）



〒940-1106 新潟県長岡市宮内2-10-8  
TEL 0258-39-1233

2015年度 秋山孝ポスター美術館長岡 4月18日(土)am1:00~pm2:45

### 運営委員会・サポーターズ倶楽部役員会合同会議



4月18日(土)、2015年度運営委員会・サポーターズ倶楽部役員会合同会議が、秋山孝ポスター美術館長岡 (APM)・蔵において開催された。

2014年度事業活動報告では、3回の企画展、4回の美術館大学、5回の課外授業、2回のワークショップを行ったことを館長・秋山孝が報告した。2014年度はAPMが開館して5年を経た年であり、APM開館5周年記念式典を執り行い、そこでAPM・蔵もお披露目した。蔵は、日を限定して年に数回、特別公開をしている。また、館長がAPM開館以来行いたいと考えていた「一流美術館大学」も、2014年度に初めて行うことができた。

2014年度の入館者数は2,231名(2015.02.28現在)であり、2009年7月からの累計入館者数は、8,598名となった。秋山孝ポスターコレクションは1,478点のポスター作品を収蔵し、ポスター研究も着実に進めていることが報告された。

2015年度の事業活動計画は、4回の企画展、5回の美術館大学、3回のワークショップを計画しており、APM・蔵の特別公開も6回を予定している。また、今年度初めて開催する「日本ブックデザイン賞2015」についての説明もあった。このコンペティションは、新たなブックデザインの提案と才能の発掘を目的としている。

2014年度会計報告は、館長とサポーターズ倶楽部会長・高田清太郎よりそれぞれ説明があり、承認された。2015年度会計収支予算案については、多くの意見が交わされる議論となった。出席者各々が持つ知識を出し合い、討論した。新たな可能性が見える課題もうまれ、APMは確実に前進している会議であった。(APM職員/森山)

出席者：12名  
運営委員会：秋山孝(館長)、牧野忠昌(副会長)、高田清太郎(副会長)、秋山善広(幹事)、高田勉(幹事)、藤田豊(幹事)、北村敏雄(オブザーバー)  
サポーターズ倶楽部役員：高田清太郎(会長)、秋山孝(顧問)、覚張良裕(理事)  
事務局：御法川哲郎(事務局長)、神林弘子、たかだみつみ、森山奈帆

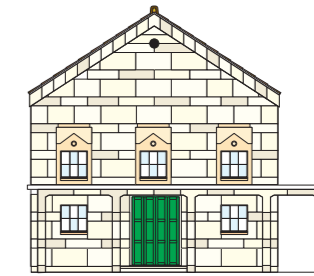
欠席者：10名(委任状提出済み)  
運営委員会：豊口協(会長)、中村隆(幹事)、丸山博(幹事)  
サポーターズ倶楽部役員：小川八重子(理事)、今井進太郎(理事)、山本敦(理事)、高田彰(理事)、平澤広栄(理事)、脇屋雄介(理事)、小玉誠(オブザーバー)

Takashi AKIYAMA Poster Museum Nagaoka 2015-05-16

# APM news 128

## 秋山孝ポスター美術館 長岡

歴史的建造物・金庫扉と雁木のある美術館（旧北越銀行宮内支店）



〒940-1106 新潟県長岡市宮内2-10-8  
TEL 0258-39-1233

第27回美術館大学 4月18日(土)am3:00~pm4:30/受講者:45名

### 「イラストレーション・ダイアログについて」

講師：高橋庸平、伊藤彰剛、末房志野、高橋真理、秋山孝



秋山孝ポスター美術館長岡 (APM) で開催中の第19回企画展「イラストレーション・ダイアログ」展 6年間の試みは、高橋庸平(東京工科大学助教、多摩美術大学非常勤講師)が継続的に開催している企画「イラストレーション対話展」の過去6年間の成果を検証する内容となっている。この企画は、高橋が毎回違うアーティストと、テーマを決めて作品を発表し合う2人展であり、毎回渋谷区神宮前にあるPATER'S Shop and Galleryにおいて開催している。今回のAPMでの展示では、高橋と過去の参加アーティスト6名(第1回 伊藤彰剛、第2回 末房志野、第3回 高橋真理、第4回 小川雄太郎、第5回 御法川哲郎、第6回 千田昇平)の当時の作品と新作を併せて展示をしている。

展示期間中には、この企画に関する美術館大学を2回開催する。参加アーティストと共に、前半・後半に分けて「イラストレーション対話展」の6年間の振り返り、そして検証していく。今回は、高橋(庸)、伊藤、末房、高橋(真)の4名を招き、館長・秋山孝が進行を務めた。5名の問答の中に「作品を通して行う対話(ダイアログ)」とは何かが見えてきた。

まず、第1回~3回の振り返りから始まった。第1回は、衝動的に始まったと高橋(庸)と伊藤は語る。彼らの、表現への探求心や作品を発表したいという情熱が、その衝動を起こしたのであろう。その衝動で始まった企画が、継続する企画に至った理由は、高橋(庸)の中に「作品を通して行う対話」の理想像があり、それに向かって進み続けている結果であると語った。伊藤、末房、高橋(真)もこの企画に参加するにあたり、それぞれに葛藤や苦しみ、そして反省があったようだ。そして、展示に向けての作品制作中は、それぞれが相手のことを意識しているということがわかった。相手の事を知ろうとし、追求し、深く考える。それは、実際に会話はしなくとも、その意識自体が相手と対話をしているということになるのだ。そして、その過程を経て出来上がった作品を通して、相手の本質が見えてくるという。言葉での会話は、時に偽りや虚勢が発生するが、作品にはそれができない。よって、実際に会話をするよりも、相手を理解できる対話方法なのではないだろうかと館長は分析した。また、同じ分野にいる人達を意識し、他者とは違う独自の表現方法を探求することが自分自身を見つめ直す機会にもなる。つまり、自分自身との対話にもなっているのだ。

最後に館長が、「イラストレーション・ダイアログ」は、言葉のやりとりとは全く違うプロセスで相手を理解しようとし、同時に自分自身も見つめているということがわかった。そして、それが従来の対話とは違う、魅力的なものであるということが理解できたまとめた。

この検証は次回の美術館大学に続く。「イラストレーション・ダイアログ」についてより深く考察できる内容になるだろうという期待感と共に、今回の美術館大学は幕を閉じた。(たかだみつみ・APM学芸員)



# APM news 129

## 秋山孝ポスター美術館 長岡

歴史的建造物・金庫扉と雁木のある美術館 (旧北越銀行宮内支店)



〒940-1106 新潟県長岡市宮内2-10-8  
TEL 0258-39-1233

新作ポスター解説 秋山孝長岡コレクション 「マイ・スキップ」連載記事 2015年4月号 vol.171

### 12.Message Illustration Poster 2014

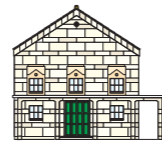
Takashi Akiyama Poster Museum Nagaoka

## 秋山孝長岡コレクション 154

長岡出身の秋山氏が自作を語る・マイスキップ誌上展  
<http://www.tamabi.ac.jp/gurafu/akiyama/>



**秋山 孝** 多摩美術大学教授・秋山孝ポスター美術館長岡/館長  
1952年長岡市生まれ。多摩美術大学卒業。東京藝術大学大学院修了。2009年「秋山孝ポスター美術館長岡」、2013年「秋山孝ポスター美術館長岡蔵」が完成。1986年、自然保護ポスター「WILD LIFE-HELP」でワルシャワ国際ポスター・ビエンナーレ・金賞を受賞し、1998年、インド核実験反対のポスターで国連賞を受賞。他、多数受賞。フィンランド、メキシコ、イタリア、ウクライナ、中国、アメリカ、ポーランド、他で国際ポスター展の審査員として招聘。著書に「Chinese Posters (中国ポスター)」(朝日新聞出版)、「イラストレーションスタディーズ」(玄光社)他多数。



秋山孝ポスター美術館長岡  
<http://apm-nagaoka.com/>



[Title] ----- 12. Message Illustration Poster 2014  
[Size] ----- 1030 x 728 mm (B1)  
[Technique] --- Offset printing  
[Date] ----- 2014  
[Client] ----- 多摩美術大学イラストレーションスタディーズ  
[Category] --- 教育  
[Idea] ----- どこかの川であっても見ることができそうな小さな魚の集団。その魅力をシルエットだけで細部を描かずに、ベタ面を活かし描いた。ちょっとした優しい場面だ。

「第12回メッセージ・イラストレーションポスター展」は、2014年9月6日から18日まで多摩美術大学デザイン棟ギャラリーで開催された。ぼくたちは絶えず新鮮で魅力的なイラストレーションを描こうと努力している。それは創作者の営みの基本的な感情だ。目を皿にして、人が見落とした自然の出来事のなかに何かを発見する。あまりにも普通過ぎて誰もが過ぎ去ってしまうような微かな風景だったりする。今回のデザインに使用したイラストレーションは本当に小さな魚の集団で、どこかの川であっても見ることができ。その魅力をシルエットだけで細部を描かずに、ベタ面を活かし描いた。ちょっとした優しい場面だ。



第12回メッセージイラストレーションポスター展  
(上) 会場風景、(下) 出品者集合写真



「イラストレーション・ダイアログ」展 6年間の試み

4月18日(土)～6月29日(月) 秋山孝ポスター美術館長岡  
Tel. Fax : 0258-39-1233 E-mail : info@apm-nagaoka.com

OPEN

# APM news 130

## 秋山孝ポスター美術館 長岡

歴史的建造物・金庫扉と雁木のある美術館 (旧北越銀行宮内支店)



〒940-1106 新潟県長岡市宮内2-10-8  
TEL 0258-39-1233

第31回APM課外授業 5月29日(金)am11:00～am11:50/参加者:74名

### 上組小学校6学年 APM見学



秋山孝ポスター美術館長岡 (APM) の活動目的の中に「教育」と「地域貢献」がある。APMのある地域が学区となっている上組小学校(上組小)との活動もその一環である。上組小は館長・秋山孝の出身校でもある。同校は、造形教育に重きをおいており、APM開館当初から良好な関係を築き、様々な活動を共に行ってきた。特に、6学年の「総合的な学習の時間」の授業では、年間を通じてカリキュラムに協力している。今年度のカリキュラムは、地域の人や表現活動に関わる人、作品を始めとする様々な物・事に触れ、それらとつながり、自分の生き方を考えようとする態度を育てる事を目標に掲げている。毎年、年度初めにAPMを見学する課外授業が恒例になっており、今年度は5月29日(金)に行った。6学年71名と引率教員3名が来館し、APMや館長について学んだ。

まず、当館学芸員のかたのみつみさんがAPMの建物や、活動内容について説明をした。建物がかつて銀行であり、金庫の扉をそのまま残しているという説明には生徒達から感嘆の声があがった。また、上組小は校内に「こだま美術館」という美術館を設け、生徒達に運営させるという活動を行っている。その学習の為に、学芸員の仕事および役割についても話をした。その後館長が、自分自身の事、美術館、デザインについて語った。アーティスト本人から直接話を聞くことは、彼らにとって貴重な体験となったことであろう。館長は「美術館は、教会や寺と同じように神聖な場所であり、静かに作品と対峙する場である。その時間は心に良い効果を与える。次回はぜひ独りでAPMに来館し、作品とじっくり向き合ってみてほしい。」と後輩達にメッセージを送った。(かたのみつみ・APM学芸員)

# APM news 131

## 秋山孝ポスター美術館 長岡

歴史的建造物・金庫扉と雁木のある美術館（旧北越銀行宮内支店）



〒940-1106 新潟県長岡市宮内2-10-8  
TEL 0258-39-1233

第28回美術館大学 5月31日(土)pm3:00~pm4:30 / 受講者:61名

「イラストレーション・ダイアログについて2」 講師:高橋庸平、小川雄太郎、御法川哲郎、千田昇平、秋山孝



今回の美術館大学は、4月18日(土)の第27回美術館大学「イラストレーション・ダイアログについて1」に続くものであり、2012年から2014年までに開催した「イラストレーション対話展」の参加アーティスト4名(高橋庸平、小川雄太郎、御法川哲郎、千田昇平)を講師として招き、館長・秋山孝が進行を務めた。

最初に、各回の展示テーマについて尋ねた。小川との展示テーマは「ポスター」。会談中に登場したメタファー(隠喩)という重要なキーワードについて館長から小川にポスターにおけるメタファーとは何かという質問があった。小川は、作者の考えや思いが何らかの形で作品に力を与えることであり、作者が最も伝えたいこと(=メッセージ)をあらわすものである。メタファーのないポスターは思想や芸術性のない、ただの情報伝達であると述べた。

御法川とのテーマは「ポスターの機能と表現」。高橋は御法川を観察し、このテーマを設定した。それは、御法川が会話中に「表現」という言葉を多用すること、御法川がある時期からポスターの情報伝達の「機能」を重要視しているように感じたことから、この二つをキーワードとして選んだという。実際、御法川にとってこの二つの言葉は、ポスターを制作する上で大切にしていることであった。

「命の視点」というテーマを設けたのは千田との展示である。千田は「もの」と「もの」との境界、生きているものとそうでないものの差、共通点を見いだしたいと考えており、高橋はその言葉にならない感覚を感じ取り「命の視点」というテーマを設定した。高橋は命を根拠とした原発問題や時事問題をテーマに制作し、千田は命あるものとそうでないものの「境界」を描き出した。館長は、「命の視点」と「境界」というキーワードには響きあう世界を感じると述べた。

イラストレーション対話展にはどのような気持ちで臨んだかという館長の質問に対して、高橋は相手の作品と自分の作品を並べることにプレッシャーを感じ、また、そのプレッシャーを相手にも与えたいと考えていたと話す。相手を意識したテーマ設定、作品制作は、その時点から相手との対話の始まりであったと回想する。それは小川、千田も同様であった。御法川も同様であったが、彼には更なる思いもあった。2009年から始まった「イラストレーション対話展」は、高橋と一緒に展示してみたいと感じたアーティストに声を掛け、継続してきた。その中で、唯一逆指名を受けたのが御法川であった。御法川は当時、創作上で解決できない問題を抱えていたが、高橋はその部分を軽々と越えたように御法川には感じられた。その後、御法川自身もその問題を解消できたと実感できたときに、改めて高橋の作品と自身の作品を並べてみたいという欲求が生じ、展示を依頼したのだという。

最後に、館長は次のような言葉を私たちに伝えた。作品による対話とは、己が考えている以上に人の心を支配したり、されたりしているものである。思いがけないところで相手のことを評価し、魅力を感じている。身近なところにライバルがいて、お互いに刺激を与え合う、そうした関係がなくてはよい作品は生まれない。終わりなき挑戦、作品による実証を続けながら、創作者の皆が世界で活躍することを願っている。(森山奈帆・APM職員/公式ホームページより抜粋)

# APM news 132

## 秋山孝ポスター美術館 長岡

歴史的建造物・金庫扉と雁木のある美術館（旧北越銀行宮内支店）



〒940-1106 新潟県長岡市宮内2-10-8  
TEL 0258-39-1233

教育事業

### APM Workshop憲章 決定

#### APMWorkshop 憲章

### 美の女神のもとで行うワークショップ

#### ■5つの柱

#### 1.感じます。

美術の精神、感動、感情

美の女神が宿る場所で作業をするという意識。  
楽しいだけでなく、緊張感を持って体験する。

#### 2.考えます。

工夫、ひらめき、オリジナリティ

与えられた作業を行うだけでなく、自ら考え、工夫し、造り出す。

#### 3.学びます。

発見、知識の取得・蓄積

体験の中から発見し、学び取り、知識を取得する。

#### 4.繋がります。

人とのコミュニケーション、伝える、共感する

自分の意見、考えを他者へ伝える。そして、共感する。

#### 5.大切にします。

自然、ぼく・わたしの住むまちを大切にする



秋山孝ポスター美術館長岡 (APM) の活動目的の1つ「教育」事業として、2013年から始まったワークショップだが、この度、「APMワークショップ憲章」が決定した。昔より美術館には女神が宿ると云われてきた。その神聖な空間で作品に囲まれながら開催することは、APMワークショップの特徴の1つである。また、与えられた事をするだけでなく、自ら考え、発信する内容を企画する。この憲章のもと、より意義のあるワークショップを目指していきたい。(たかだみつみ・APM学芸員)



Takashi AKIYAMA Poster Museum Nagaoka 2015-08-01

# APM news 133

## 秋山孝ポスター美術館 長岡

歴史的建造物・金庫扉と雁木のある美術館 (旧北越銀行宮内支店)



〒940-1106 新潟県長岡市宮内2-10-8  
TEL 0258-39-1233

### 日本ブックデザイン賞2015

#### 審査会

6月13日(土)pm2:00~pm4:30/会場:東京工科大学 蒲田キャンパス  
審査員:秋山孝、大迫修三、太田徹也、澤田泰廣、豊口 協、中垣信夫(欠席:かわいひろゆき)



今年初開催となる、秋山孝ポスター美術館長岡 (APM) 主催の「日本ブックデザイン賞」。その審査会を6月13日(土)に東京工科大学蒲田キャンパス(東京都)に於いて行った。審査員は、秋山孝、大迫修三、太田徹也、澤田泰廣、豊口 協、中垣信夫(50音順)の5名に依頼した。審査を依頼していたかわいひろゆきは、都合が合わず欠席となった。

応募総数は626点(一般部門232点、学生部門394点)であった。地方の個人美術館主催で、初開催のコンペティションに、全国各地からこれだけの応募があった事は、素晴らしい結果ではないだろうか。事前に行った一次審査を通過した作品が、この日の審査の対象となった。部門ごとに全作品を並べ、投票制と協議の結果、各賞が決定した。各審査員からの意見・主張が飛び交い、白熱した審査会となった。審査終了後には、審査員全員での座談会を行った。今回の出品作品について、現在および未来のブックデザインについて等、話は盛り上がり、予定時刻を過ぎる程であった。

審査結果は7月30日に公式ホームページ上で発表した。入賞・入選した全作品を9月にAPMに於いて展示する予定である。期間中には授賞式も行う。その場に於いても、参加者同士でのブックデザイン談義が繰り返されることを期待したい。(たかみつみ・APM学芸員)

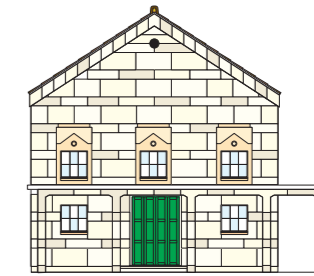


Takashi AKIYAMA Poster Museum Nagaoka 2015-08-19

# APM news 134

## 秋山孝ポスター美術館 長岡

歴史的建造物・金庫扉と雁木のある美術館 (旧北越銀行宮内支店)



〒940-1106 新潟県長岡市宮内2-10-8  
TEL 0258-39-1233

### 新作ポスター解説 秋山孝長岡コレクション 「マイスキップ」連載記事 2015年5月号 vol.172

#### 「イラストレーション・ダイアログ」展

Takashi Akiyama Poster Museum Nagaoka

### 秋山孝長岡コレクション 155

長岡出身の秋山氏が自作を語る・マイスキップ誌上展  
<http://www.tamabi.ac.jp/gurafu/akiyama/>

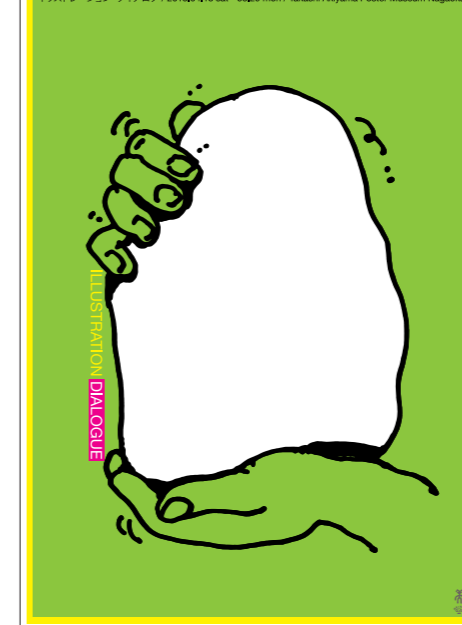


**秋山 孝** 多摩美術大学教授・秋山孝ポスター美術館長岡/館長  
1952年長岡市生まれ。多摩美術大学卒業。東京藝術大学大学院修了。2009年「秋山孝ポスター美術館長岡」、2013年「秋山孝ポスター美術館長岡・蔵」が完成。1986年、自然保護ポスター「WILD LIFE+HELP」でワルシャワ国際ポスタービエンナーレ・金賞を受賞し、1998年、インド核実験反対のポスターで国連賞を受賞。他、多数受賞。フィンランド、メキシコ、イタリア、ウクライナ、中国、アメリカ、ポーランド、他で国際ポスター展の審査員として招聘。著書に「Chinese Posters (中国ポスター)」、(朝日新聞出版)、「イラストレーションスタディーズ」(玄光社)他多数。



秋山孝ポスター美術館長岡  
<http://apm-nagaoka.com/>

イラストレーション・ダイアログ / 2015.04.18 sat - 06.29 mon / Takashi Akiyama Poster Museum Nagaoka



「イラストレーション・ダイアログ」6年間の試み展は、2015年4月18日から6月29日まで秋山孝ポスター美術館長岡 (APM) で開催される第19回目の企画展だ。展覧会は、もともと高橋庸平の企画「イラストレーション対話展」で、2009年4月24日に第1回「シルエット展」を渋谷区神宮前にあるPATER'S Shop and Galleryにおいて開催し、継続的に毎年行なっている。この継続を俯瞰し、6年間の展覧会成果を検証するものである。ポスターデザインは、対話 (ダイアログ) と題した展覧会の特徴を表すために、対峙する両手を使った。そこには想像を越えた出会いがあったり、新たな概念を生み出そうとするイメージをシンボリックに表した。



「イラストレーション・ダイアログ」展  
(上) 第27回美術館大学、(下) 展覧会集合写真

[Title] ----- 「イラストレーション・ダイアログ」展  
[Size] ----- 1030 x 728 mm (B1)  
[Technique] --- Offset printing  
[Date] ----- 2015  
[Client] ----- 秋山孝ポスター美術館長岡 (APM)  
[Category] --- 文化  
[Idea] ----- 対話 (ダイアログ) と題した展覧会の特徴を表すために、対峙する両手を使った。そこには想像を越えた出会いがあったり、新たな概念を生み出そうとするイメージをシンボリックに表した。



**日本ブックデザイン賞2015 応募作品募集!**  
応募期間: 2015年5月11日(月)~5月18日(月)必着  
主催: 秋山孝ポスター美術館長岡 (APM)  
URL: [www.apm-nagaoka.com/bookdesign/](http://www.apm-nagaoka.com/bookdesign/)



Takashi AKIYAMA Poster Museum Nagaoka 2015-09-02

# APM news 135

## 秋山孝ポスター美術館 長岡

歴史的建造物・金庫扉と雁木のある美術館（旧北越銀行宮内支店）



〒940-1106 新潟県長岡市宮内2-10-8  
TEL 0258-39-1233

第29回美術館大学 7月11日(土)pm3:00~pm4:30/受講者:44名

### 「秋山孝の神秘『メタファー』について」1 講師:秋山孝、たかだみつみ



秋山孝ポスター美術館長岡 (APM) の開館当初から定期的に開催してきた「秋山孝ポスター展」。7回目を迎える今回から「秋山孝の神秘」という展示名がついた。これは、秋山孝(多摩美術大学教授・APM館長)のポスター作品表現の秘密を解き明かすことを目的としたシリーズ企画であり、今後定期的に開催していく予定だ。毎回テーマを設け、秋山孝の秘密のひとつひとつを研究していく。第1回目のテーマは「メタファー」である。秋山の表現において、とても重要な要素である。展示初日に開催した第29回美術館大学では、たかだみつみ (APM学芸員) の進行のもと、秋山本人が「メタファー」について語った。

そもそも「メタファー」とは何なのか。

主に言語分野で使われる修辞技法のひとつである。日本語では「暗喩」「隠喩」と訳され、直接的な表現ではなく、わからないように指し示したり意味を持たせたりする、比喩表現の一種である。「メタファー」の歴史は古く、古代ギリシャ時代にまで遡る。ソクラテスやプラトンをはじめとする多くの哲学者が「メタファー」を研究してきたが、未だに結論が出ていない。

イラストレーション(視覚分野)での「メタファー」表現を試みている秋山であるが、言語における「メタファー」の研究も長年行なっている。それが、「言葉のスケッチ」というシリーズである。20代から43年間継続して行なっている研究で、日々、心に浮かんだ言葉を書き留めている。秋山は「言葉のスケッチ」や松尾芭蕉の俳句の幾つかを例に上げて、言語分野における「メタファー」を説明した。短い一文の中に読み手は想像を広げ、言葉の向こう側に広がる世界を感じ取るのだ。そこにいかに想像の広がりや、共感を生み出すかが、優れた「メタファー」といえるのではないだろうか。

いよいよ話題は、秋山にとって最大なる難問である、視覚分野における「メタファー」についてとなる。表現において最も重要なキーワードは「言わない」「描かない」と秋山は語る。

今回の企画展ポスターを例に挙げてみる。中心には犬らしき形が描いてある。秋山の愛犬ゴマを描いているのだが、目や口をはっきりとは描かずにあくまで「犬らしきもの」でとどめている。その口もとらしき部分からは展示の基本情報が発せられているようだ。実際のゴマが話す事は無いが、このポスターでは秋山の代わりに情報を発している。正に「声なき声」である。背景はオレンジとグリーンの色面で分割されている。色面の分割位置や色の印象から、グリーンの色面を芝生と想像する人もいよう。オレンジの色面を夕焼けの色だと想像する人もいよう。もしくは、明るい空間と捉える人もいよう。観る人によって解釈が変わる。それが「メタファー」なのである。

今回の企画展の展示作品は御法川哲郎(長岡造形大学准教授・APM事務局長)が選出した。御法川は、秋山のポスター作品を見返しながら、直接的な比喩ではなく他の物で置き換えて表現することによって、イメージに広がりが出るということを感じたという。【▶次号へつづく】(たかだみつみ・APM学芸員/公式ホームページより抜粋)

Takashi AKIYAMA Poster Museum Nagaoka 2015-09-16

# APM news 136

## 秋山孝ポスター美術館 長岡

歴史的建造物・金庫扉と雁木のある美術館（旧北越銀行宮内支店）



〒940-1106 新潟県長岡市宮内2-10-8  
TEL 0258-39-1233

第29回美術館大学 7月11日(土)pm3:00~pm4:30/受講者:44名

### 「秋山孝の神秘『メタファー』について」2 講師:秋山孝、たかだみつみ



秋山の話の中で、龍安寺(京都市)の石庭が例にあがる。区切られた敷地の中に、大小様々な石を配置して、実際にはそこには無い水の流れや山等、壮大な自然の情景を表現している。日本ではこのような表現技法を「見立て」と言う。日本の文化では至る所でこの「見立て」が使われてきた。表現したい物を他の物になぞらえて表現することである。すなわち「メタファー」なのである。世界中の多くの人がこの庭を訪れ、口を閉ざして、じっとそれを見つめる。そこに何を見ているのか。自分の人生を見ているのだと秋山は語る。数百年たった今でも色あせることなく、また、遠い異文化の人が見ても美しいと感じる日本の美が持つ魅力は、「見立て」=「メタファー」にあるのである。

直喩と暗喩の違いは言語分野においては比較的説明しやすいが、視覚分野での説明は難しいようだ。秋山の考察では、視覚分野における直喩は、図鑑などにみる説明画がそれにあたる。その反対に位置する暗喩表現における絵画がアートとなる。しかし、説明画の中にも暗喩が垣間見える時があり、また、「メタファー」が芸術であるかという点もまた言い切ることができない。秋山もまだはっきりと区別することができないでいる。人々はすぐ、難しいものや理解し難いものを簡単に分かり易く説明することを求める。しかし、難しいものを理解するには膨大な時間が必要なのだ。私たちは、物事は簡単にはわからないという事を理解しなければならない。「メタファー」も然りである。また、私たちは「メタファー」を作り上げる喜びを持ちながら生きていくという。過去の経験や感動により、共感が生まれ、それが「メタファー」となる。この事が、芸術を理解する一番のきっかけとなるのだと秋山は語る。

最後に受講者から、作品制作の上で自分の「メタファー」が観る側に伝わらないかもしれないと不安になることはあるかという質問に対して秋山は、「それは常にある」と答えた。そもそも、全員に伝わる方法は存在しない。だからといって、表現することをやめてはいけない。やり続けることが重要であると語った。

今回からはじまった「秋山孝の神秘」の研究であるが、全てを理解するのは容易な事ではない。だからこそ、私たちはひとつひとつ丁寧に紐解きながら研究を続けていかなければならない。その積み重ねが、真実となるはずだ。(たかだみつみ・APM学芸員/公式ホームページより抜粋)



# APM news 137

## 秋山孝ポスター美術館 長岡

歴史的建造物・金庫扉と雁木のある美術館 (旧北越銀行宮内支店)



〒940-1106 新潟県長岡市宮内2-10-8  
TEL 0258-39-1233

新作ポスター解説 秋山孝長岡コレクション 「マイ・スキップ」連載記事 2015年6月号 vol.173

### Célébrer la Terre (地球を祝う)

# APM news 138

## 秋山孝ポスター美術館 長岡

歴史的建造物・金庫扉と雁木のある美術館 (旧北越銀行宮内支店)



〒940-1106 新潟県長岡市宮内2-10-8  
TEL 0258-39-1233

第30回美術館大学 8月5日(水)pm3:00~pm4:30 / 受講者:76名

### 「摂田屋まちづくり協議会策定のまちづくり協定について」

講師: 渡辺誠介  
高田清太郎  
秋山孝

## 秋山孝長岡コレクション 156

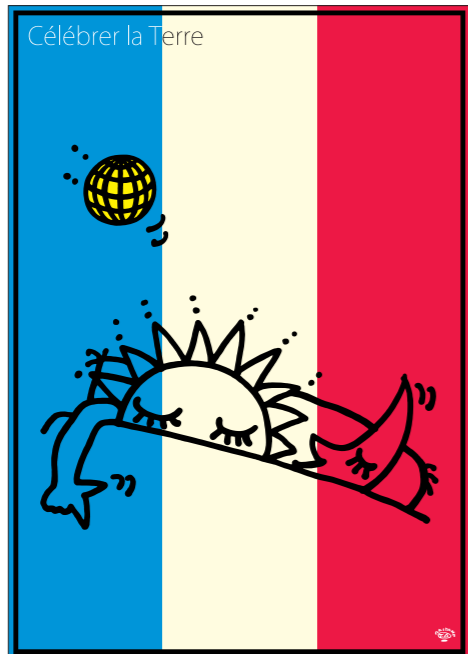
長岡出身の秋山氏が自作を語る・マイスキップ誌上展  
<http://www.tamabi.ac.jp/gurafu/akiyama/>



秋山 孝 多摩美術大学教授・秋山孝ポスター美術館長岡/館長  
1952年長岡市生まれ。多摩美術大学卒業。東京藝術大学大学院修了。2009年「秋山孝ポスター美術館長岡」、2013年「秋山孝ポスター美術館長岡・蔵」が完成。1986年、自然保護ポスター「WILD LIFE-HELP」でワルシャワ国際ポスタービエンナーレ・金賞を受賞し、1998年、インド核実験反対のポスターで国連賞を受賞。他、多数受賞。フィンランド、メキシコ、イタリア、ウクライナ、中国、アメリカ、ポーランド、他で国際ポスター展の審査員として招聘。著書に「Chinese Posters (中国ポスター)」(朝日新聞出版)、「イラストレーションスタディーズ」(玄光社)他多数。



秋山孝ポスター美術館長岡  
<http://apm-nagaoka.com/>



パリ市などがスポンサーになっているLa Fête Du Graphisme委員会からポスターのデザイン依頼があった。パリはポスターを文化のひとつとして考え、美しいポスター塔をシンボルとし、長い歴史を持って街の美観を作りあげている。2015年1月7日から3月4日までシャンゼリゼ大通りで展示されたり、シテ国際芸術会館でレセプションをはじめ、各地でポスターのイベントが開催された。今回のテーマは「Célébrer la Terre (地球を祝う)」である。依頼を受けたポスターは、太陽と月と地球を配し、フランスのシンボルカラーでデザインした。そこには擬人化された太陽と月、太陽は地球を照らす眩しい光、月はその清らかさと美しさを表す。そこに我々の地球がある。



[Title] ----- Célébrer la Terre (地球を祝う)  
[Size] ----- 1030 x 728 mm (B1)  
[Technique] --- Offset printing  
[Date] ----- 2015  
[Client] ----- La Fête Du Graphisme Organization  
[Category] --- 文化  
[Idea] ----- 太陽、月、地球、それにフランスのシンボルカラーを配した。太陽は天の光、月は清らかさ、そこに地球がある。

「イラストレーション・ダイアログ」展 6年間の試み  
4月18日(土)~6月29日(日) 秋山孝ポスター美術館長岡  
Tel, Fax : 0258-39-1233 E-mail : info@apm-nagaoka.com



「Célébrer la Terre」ポスター展示風景/上) シャンゼリゼ大通り(上)ポスター解説/ミシェル・ブーズ、(下)ポスター・ライトアップ



摂田屋は、新潟県長岡市にある一地域である。酒や味噌、しょうゆなどの蔵元6件がこの地域に集中していることから「醸造の町」として近年注目されている。この摂田屋の街並みを大切に、住民が主体となってまちづくりに取り組もうと策定したものが摂田屋まちづくり協議会策定の「まちづくり協定」である。摂田屋地区まちづくり協議会・顧問であり長岡造形大学教授・渡辺誠介、摂田屋の地元企業である(株)高田建築事務所の代表取締役社長・高田清太郎、長岡市宮内出身の多摩美術大学教授・秋山孝の3名が講演した。

まず、渡辺教授から摂田屋のまちづくり協定について説明を受けた。まちづくり協定とは、それぞれの地区の特性に合った景観・街並みの形成などを目的として、その地区の住民が自主的に定めたまちづくりのルールを示す。具体的には、母屋やカーポート、庭、生垣など外から見える部分を摂田屋の街並みに相応しいものとする事である。その協定を守らなかったからといって法的制裁があるわけではない。あくまでその住宅はその家に住む住民のものである。助成を受けるためにしぶしぶ協定どおりの外観デザインを受入れるよりも、協定の枠内でどれだけ理想とする建物デザインにすることができるかが大切であると渡辺教授は語る。それはデザイナーの力量にかかってくる。摂田屋の街並みに合い、さらに戸主の思いに合うデザインを考えてほしいと、建築設計士に向けて言葉を贈った。

高田は、自らが今まで関わってきた数ある建築物の中から、和風建築の事例を挙げて説明した。漆喰を使った住宅、木造の重厚な住宅、蔵のような外観の住宅、屋根が建物全体の3分の2を占める住宅、コンクリート・漆喰・木など素材が混在した住宅など、実に様々な建物を紹介した。顧客からも和風建築を望む声はあるが、純粋な和風建築をという声は少ない。どこかにこだわりがあり、オリジナリティを求める。建築設計士は顧客の声に耳を傾け、町の在り方を考え、両者にとって最良のデザインを見つけてほしいと語った。

秋山はデザイナーにできることは何かを考え、宮内と摂田屋を理解するため年月をかけて調査した。過去の文化、歴史を忘れてはならず、建物もまたその土地の文化、歴史に沿ったあるべき姿であってほしいと訴えた。それは、その土地で暮らしてきた人々が長年かけて辿り着いた必然性のある形であり、その土地の自然に合った姿であるからである。

最後の質疑応答の時間には多摩美術大学大学院生の柏大輔より質問がなされた。渡辺教授が説明したまちづくり協定のルール「新しいものを緩やかに制限すること」と、秋山の取り組んだ宮内・摂田屋百景の「古きよきものを再発見すること」の両輪がかみ合った場合、その仕組みの完璧さに驚くのだが、何か抜けているものがないかというものであった。これに対し渡辺教授は、宮内・摂田屋百景の古きよきものを見いだしたあとの活用が未定なことを指摘し、まちづくり協定については、住民が昔からの立場に囚われ、意見交換の場でも思うように発言できないといった問題があるのだとした。そういった問題に対してはじっくり話し合い、考え、時間をかけて丁寧に理解していくことが道を開いていくのだと語った。(森山奈帆・APM職員/公式ホームページより抜粋)

Takashi AKIYAMA Poster Museum Nagaoka 2015-11-01

# APM news 139

## 秋山孝ポスター美術館 長岡

歴史的建造物・金庫扉と雁木のある美術館 (旧北越銀行宮内支店)



〒940-1106 新潟県長岡市宮内2-10-8  
TEL 0258-39-1233

日本ブックデザイン賞2015

作品展示および授賞式 展示期間:9月6日(日)~9月26日(土)  
授賞式:9月12日(土)pm2:30~pm4:30/参加者:97名



初開催の「日本ブックデザイン賞 (JBD) 2015」。応募総数626点の内、厳選なる審査の結果決定した入賞・入選作品全242点を秋山孝ポスター美術館長岡 (APM) に於いて展示した。展示期間中の9月12日 (土) には、同会場にて授賞式も執り行った。当日は気持ちの良い秋晴れで、遠方からも多くの方に参加いただき、盛大な式となった。

授賞式では、まずAPM館長・審査委員長の秋山孝が開催主旨及び関係者への感謝を述べた。祝辞は、当館運営委員会会長・審査員の豊口協、公益財団法人長岡芸術文化振興財団専務理事の神林茂氏からいただいた。豊口は、ブックデザインは、作家と読者との間に立って本の中身を表すカギを正確に伝える重大な役目を持っている。それは、ポスターも同様であり、ブックデザインもポスターも、人と人を結びつける重要な役割を持っている。それに挑戦した応募者の勇気を讃えたいと語った。神林氏は、今回の応募総数を見て、長岡でもこれほどの規模のコンペティションを開催した事に敬意を表したい。今、世の中の動きは「地方創世」である。「文化」を地方創世計画の潤いのひとつに位置づけることでその地域のアイデンティティーが上がる、とJBDが長岡から発信されることへの期待を込めたコメントをいただいた。協賛いただいた北越紀州製紙株式会社長岡工場長の谷口喜三雄氏は、「紙の本」が持つ魅力、「紙の本」だからこそ伝わる文化がそこにある。「JBD」を通じて、「紙の本」の魅力がもっと大きくなることを願っているというご祝辞をいただいた。

続いて賞状授与を行い、グランプリには副賞として賞金20万円が、金の本賞受賞者には、日本酒「エル・チアキ」が贈呈された。この日本酒は、APMサポーターズ倶楽部法人会員である新潟銘醸株式会社より提供いただいた。受賞者を代表して、グランプリを受賞した大町駿介氏は、「全国各地の古い建造物を巡り、研究を行なっている。今回受賞した作品も、その研究成果の1つである。このような研究内容はなかなか世間から注目されないと憂いているが、今回、グランプリという評価を受けたことに感激している。」と受賞の喜びを語った。

式典の後は、懇親会を開き参加者間の交流を図った。長岡市長・森民夫氏からは、このようなコンペティションを長岡で開催したことへの感謝と、更なる発展への激励の言葉をいただいた。会場では、遠方からの参加者のために、地元の名産を並べ長岡の味を楽しんでもらった。美味しい地酒を片手に、展示作品に囲まれながら楽しく会は進み、審査員より直接、作品に関して意見をもらう受賞者の姿も見受けられた。

授賞式以外にも展示期間中は、様々なメディアでJBDのことが紹介され、多くの来館者があった。

APMではこれまで様々な活動を行なってきたが、JBDは大きな新しい試みである。初開催をした結果、多くの方より賛同および激励の言葉をいただくことができた。ますます発展していくことを目指し、今後もJBDを開催していく予定である。(たかだみつみ・APM学芸員)

Takashi AKIYAMA Poster Museum Nagaoka 2015-11-17

# APM news 140

## 秋山孝ポスター美術館 長岡

歴史的建造物・金庫扉と雁木のある美術館 (旧北越銀行宮内支店)



〒940-1106 新潟県長岡市宮内2-10-8  
TEL 0258-39-1233

新作ポスター解説 秋山孝長岡コレクション 「マイ・スキップ」連載記事 2015年7月号 vol.174  
「draw draw draw」多摩美術大学大学院グラフィックデザイン研究領域  
イラストレーションスタディーズ修了制作展

Takashi Akiyama Poster Museum Nagaoka

### 秋山孝長岡コレクション 157

長岡出身の秋山氏が自作を語る「マイ・スキップ」誌上展  
<http://www.tamabi.ac.jp/gurafu/akiyama/>



秋山 孝 多摩美術大学教授・秋山孝ポスター美術館長岡/館長  
1952年長岡市生まれ。多摩美術大学卒業。東京藝術大学大学院修了。2009年「秋山孝ポスター美術館長岡」、2013年「秋山孝ポスター美術館長岡・蔵」が完成。1986年、自然保護ポスター「WILD LIFE-HELP」でワルシャワ国際ポスタービエンナーレ・金賞を受賞し、1998年、インド核実験反対のポスターで国連賞を受賞。他、多数受賞。フィンランド、メキシコ、イタリア、ウクライナ、中国、アメリカ、ポーランド、他で国際ポスター展の審査員として招聘。著書に「Chinese Posters (中国ポスター)」、(朝日新聞出版)、「イラストレーションスタディーズ」(玄光社)他多数。



秋山孝ポスター美術館長岡  
<http://apm-nagaoka.com/>



多摩美術大学大学院イラストレーション研究グループは、2004年から「イラストレーションスタディーズ修了制作展」を12年間継続的に開催している。2011年より南青山にあるGallery5610が会場となっている。この発表は、イラストレーション世界における各専門的な切り口で表現と研究を追求した成果である。この成果は今後、将来に向けての各自の指針となりうる。展覧会告知ポスターデザインは、「draw draw draw」(描け、描け、描け)という表現者の基本のひとつをテーマとして表現した。それは、スケッチやデッサンで考えを発見するのに必要なものだ。ぼくたちはいつも、小さなスケッチブックから大きな力を見いだしている。



[Title] ----- 「draw draw draw」  
多摩美術大学大学院グラフィックデザイン研究領域  
イラストレーションスタディーズ修了制作展  
[Size] ----- 1030 x 728 mm (B1)  
[Technique] --- Offset printing  
[Date] ----- 2015  
[Client] ----- 多摩美術大学イラストレーションスタディーズ  
[Category] --- 教育  
[Idea] ----- ぼくたちはいつも、小さなスケッチブックから大きな力を見いだしている。



Takashi Akiyama Poster-7  
秋山孝の神秘「メタファー」展  
7月11日(土)~9月26日(土) 秋山孝ポスター美術館長岡  
Tel, Fax : 0258-39-1233 E-mail : info@apm-nagaoka.com

OPEN

多摩美術大学大学院グラフィックデザイン研究領域イラストレーションスタディーズ修了制作展2015/ (上) トークショー、(下) 集合写真



# APM news 141

## 秋山孝ポスター美術館 長岡

歴史的建造物・金庫扉と雁木のある美術館 (旧北越銀行宮内支店)



〒940-1106 新潟県長岡市宮内2-10-8  
TEL 0258-39-1233

第31回美術館大学 10月3日(土)pm3:00~4:30/受講者:55名/講師:大町駿介、柏大輔、末房志野、秋山孝  
「日本ブックデザイン賞2015について」



日本ブックデザイン賞 (JBD) は、秋山孝ポスター美術館長岡 (APM) 初開催の事業である。第31回美術館大学では、「日本ブックデザイン賞2015について」と題して、応募作品やブックデザインの魅力について講演会を開催した。館長の秋山は「なぜポスター美術館でブックデザインを扱うのか」ということについて、ポスターは一枚の紙で表現することを求められ、瞬間的な喚起や理解を促すことができる一方、本は何百枚という紙に知識や知恵が詰め込まれ、読み進めることにより理解するという類似点がある。それは呼応し響きあう関係である。ポスターのことを深く知るために、本も取り上げたい、と述べた。

続いて、受賞作品について話しを伺った。大町氏は私家版『宮内・撰田屋百景』でグランプリを授賞した。宮内・撰田屋という地域で、特別な人が残した特別な建物ではなく、一般の人々が修繕しながら使ってきた昔ながらの民家が残っていることに感動し、作品を著したという。柏氏は『Daisuke Kashiwa illustration sources 1,000 Vol.3』と題し、1冊に1000点のイラストレーションが収められている。ポスターに用いられるイラストレーションに興味があり、どのようなものに魅力を感じるかを研究したところ、「テーマを表現していること」「テーマアピール力があること」の2点であると考えた。その考えが表れている作品をまとめた本だという。次に各々が影響を受けた本について話しが続くと、秋山はワーズワースの詩集や東洋の経本などの実物を見せながら、本の歴史、役割、技術などを紹介した。例えば本の小口に圧された箔は、本をしみや虫から守り、拓本で作られた書物は印刷された書物よりはるかに長期にわたって保管できると述べた。大町氏は今和次郎著『日本の民家』を紹介し、日本の民家を体系的に記された初めての書籍で、一般の民家を選んでいるところが素晴らしいと感じたそうだ。写真ではなくイラストレーションを用いることによって、著者が建物のどこに魅力を感じているかがよく伝わり、感銘を受けた。そこから『宮内・撰田屋百景』が生まれたという。柏氏はベルギーのイラストレーター、ジャン・ミッシェル・フォロンの『Poster of Folon』を取り上げ、フォロンの作品の紙面での配置が、ポスターを理解していなければなれない構成だとその魅力を語った。また、初版版のみではあるが、フォトリトグラフというフォロンの作品の特徴に表現するのに適した印刷手法が用いられている点も紹介した。

末房氏はグランプリを受賞した作品が大町氏の作品であったことに当初驚きを感じたが、審査員の審美眼の正しさに心を打たれたという。コンペティションなどでは、とかく目を引く作品に賞が授けられがちである。秋山は審査員は応募してくれた人たちに正しい評価をしたいのだ、と述べた。才能のある人に正しい評価を与えて太鼓判を押してあげたい。才能のある人が世の中で活躍してほしい、というのがブックデザイン賞の根本であるとまとめた。(森山奈帆・APM職員/公式ホームページより抜粋)

# APM news 142

## 秋山孝ポスター美術館 長岡

歴史的建造物・金庫扉と雁木のある美術館 (旧北越銀行宮内支店)



〒940-1106 新潟県長岡市宮内2-10-8  
TEL 0258-39-1233

新作ポスター解説 秋山孝長岡コレクション 「マイ・スキップ」連載記事 2015年8月号 vol.175  
静物-1/Dessin

Takashi Akiyama Poster Museum Nagaoka

## 秋山孝長岡コレクション 158

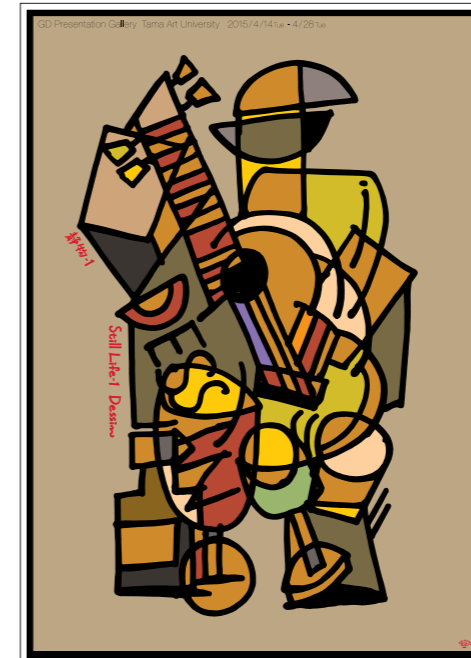
長岡出身の秋山氏が自作を語る・マイスキップ誌上展  
<http://www.tamabi.ac.jp/gurafu/akiyama/>



**秋山 孝** 多摩美術大学教授・秋山孝ポスター美術館長岡/館長  
1952年長岡市生まれ。多摩美術大学卒業。東京藝術大学大学院修了。2009年「秋山孝ポスター美術館長岡」、2013年「秋山孝ポスター美術館長岡・蔵」が完成。1986年、自然保護ポスター「WILD LIFE-HELP」でワルシャワ国際ポスタービエンナーレ・金賞を受賞し、1998年、インド核実験反対のポスターで国連賞を受賞。他、多数受賞。フィンランド、メキシコ、イタリア、ウクライナ、中国、アメリカ、ポーランド、他で国際ポスター展の審査員として招聘。著書に「Chinese Posters (中国ポスター)」「朝日新聞出版」、「イラストレーションスタディーズ」(玄光社)他多数。



秋山孝ポスター美術館長岡  
<http://apm-nagaoka.com/>

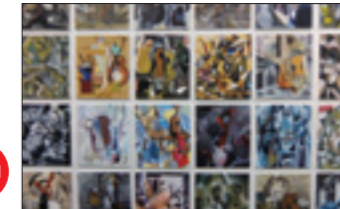


[Title] ----- 静物-1/Dessin  
[Size] ----- 1030 x 728 mm (B1)  
[Technique] --- Offset printing  
[Date] ----- 2015  
[Client] ----- 多摩美術大学デッサンプロジェクト  
[Category] --- 教育  
[Idea] ----- ルネサンス以来の一点透視図法を超えた表現となっている。



Takashi Akiyama Poster-7  
秋山孝の神秘「メタファー」展  
7月11日(土)~9月26日(土) 秋山孝ポスター美術館長岡  
Tel. Fax : 0258-39-1233 E-mail : info@apm-nagaoka.com

OPEN



静物-1/Dessin/多摩美術大学GDプレゼンテーション・ギャラリー  
(上) 展覧会風景、(下) 2年生作品/キュビズム(静物)



# APM news 143

## 秋山孝ポスター美術館 長岡

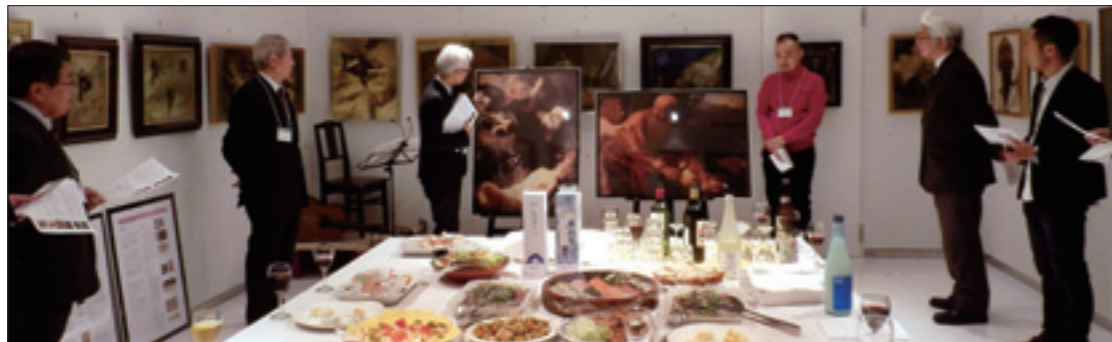
歴史的建造物・金庫扉と雁木のある美術館 (旧北越銀行宮内支店)

第3回一流美術館大学 11月26日(木)pm6:00-8:00/参加者:19名/講師:甲賀正彦、高田清太郎、秋山孝

- 1.日本ブックデザイン賞2015の報告
- 2.絵を読む1 / レンブラント「イサクの犠牲」、カラヴァッジオ「イサクの犠牲」



〒940-1106 新潟県長岡市宮内2-10-8  
TEL 0258-39-1233



秋山孝ポスター美術館長岡(APM)・蔵において第3回一流美術館大学が開催された。一流美術館大学は、法人会員を中心にAPMの活動に多大な協力をしてくれる方々を招待し、教養を深めるための勉強会を催し、食事を楽しみながら知的な会話を交わす社交の場である。今回の企画内容は2つ。1つは今年度APMで初開催となった日本ブックデザイン賞2015の報告、もう1つは絵画を読み解くという内容である。また、会の中では昨年に引き続き畠山徳雄ギター教室の畠山徳雄氏によるギター演奏が行われた。

「絵を読む1」ではイタリアのカラヴァッジオとオランダのレンブラント・ファン・レインのそれぞれの描く「イサクの犠牲」から、両者の描き方の違い、宗教観の違い、そして「イサクの犠牲」という神話の意味について東京工芸大学の甲賀正彦氏、APMサポーターズ倶楽部会長の高田清太郎から講演していただいた。「イサクの犠牲」は長年子どもに恵まれなかったアブラハムが、晩年ようやく授かった一人息子イサクを生贄に捧げるよう神に命じられる試練の話であり、その1場面を描いたものが、絵画「イサクの犠牲」である。

秋山からの「聖書には旧約と新約があるが、両者の違いは何か」という質問に対し高田は、「旧約は掟の世界、新約は贖罪の世界」と簡潔にキーワードを述べた後、その詳細を次のように表現した。旧約聖書は掟の話である。掟を守ることが人を愛することに繋がり、掟を破った罪人は罰を受ける。そもそも旧約、新約の「約」とは「神との契約」を表している。今回の演題である「イサクの犠牲」も神との約束をアブラハムは守ることができるかどうか試されている。対して新約聖書は贖罪の話であり、神の子イエス・キリストがその愛と恵みによって人間を赦し、救っていくという筋書きである。

甲賀氏からは宗教における絵画について話を伺った。旧約聖書に登場する「十戒」。その中では「偶像崇拜の禁止」を唱えているが、なぜこんなにも宗教絵画は発展してきたのか。当時、大衆の識字率は低く、文字が読めずとも大意を伝えることのできる絵画による布教が大変効果的だったことが理由のひとつとしてあげられる。

こうした背景の中で発展してきた宗教絵画であるが、カラヴァッジオとレンブラントの「イサクの犠牲」を比較したとき、いくつかの明確な違いがある。甲賀氏が指摘するのは天使。本来天使に性別はないが、画家によって男女どちらかに寄せることが多いという。カラヴァッジオの天使は男性的な姿であるのに対し、レンブラントの天使は少し女性らしい柔らかさが表情に見られる。また、秋山は描かれたナイフに着目した。カラヴァッジオの描くナイフは切れるナイフなのに対し、レンブラントの描くナイフは先の丸い装飾的なナイフである。

このように同じ題材で描かれた2つの絵画からいくつもの発見がある。秋山は、APMをただ絵を展示し、鑑賞するだけの美術館にしてはならないと考える。勉強会を開き、美術について学ぶ場を設けること、研究することが大切なことであると述べた。講義で美術を学び、その後は食事を楽しみながら美術について語ることが、一流美術館大学の喜びであり楽しみ方である。(森山奈帆・APM職員/公式ホームページより抜粋)

# APM news 144

## 秋山孝ポスター美術館 長岡

歴史的建造物・金庫扉と雁木のある美術館 (旧北越銀行宮内支店)

新作ポスター解説 秋山孝長岡コレクション 「マイ・スキップ」連載記事 2015年9月号 vol.176

## 秋山孝 in チェンマイ



〒940-1106 新潟県長岡市宮内2-10-8  
TEL 0258-39-1233

Takashi Akiyama Poster Museum Nagaoka

## 秋山孝長岡コレクション 159

長岡出身の秋山氏が自作を語る・マイスキップ誌上展  
<http://www.tamabi.ac.jp/gurafu/akiyama/>



**秋山 孝** 多摩美術大学教授・秋山孝ポスター美術館長岡/館長  
1952年長岡市生まれ。多摩美術大学卒業。東京藝術大学大学院修了。2009年「秋山孝ポスター美術館長岡」、2013年「秋山孝ポスター美術館長岡・蔵」が完成。1986年、自然保護ポスター「WILD LIFE-HELP」でワルシャワ国際ポスタービエンナーレ・金賞を受賞し、1998年、インド核実験反対のポスターで国連賞を受賞。他、多数受賞。フィンランド、メキシコ、イタリア、ウクライナ、中国、アメリカ、ポーランド、他で国際ポスター展の審査員として招聘。著書に「Chinese Posters (中国ポスター) (朝日新聞出版)」、「イラストレーションスタディーズ」(玄光社)他多数。



秋山孝ポスター美術館長岡  
<http://apm-nagaoka.com/>



[Title] ----- 秋山孝 in チェンマイ 展  
[Size] ----- 728 x 515 mm (B2)  
[Technique] --- Offset printing  
[Date] ----- 2014  
[Client] ----- Chiang Mai University  
[Category] --- 文化  
[Idea] ----- イーベン祭りのコムローイ (熱気球) を空にあげるロマンティックな儀式と、神である象がポスター塔を抱えて登場する姿。



**特別展 日本ブックデザイン賞2015**  
※ 第20回企画展 秋山孝の神秘「メタファー」展と同時開催です。  
9月6日(日)～9月26日(土) 秋山孝ポスター美術館長岡  
Tel. Fax: 0258-39-1233 E-mail: info@apm-nagaoka.com

OPEN



秋山孝 in チェンマイ展/チェンマイ大学美術館  
展覧会バナー



Takashi AKIYAMA Poster Museum Nagaoka 2016-03-02

# APM news 145

## 秋山孝ポスター美術館 長岡

歴史的建造物・金庫扉と雁木のある美術館 (旧北越銀行宮内支店)

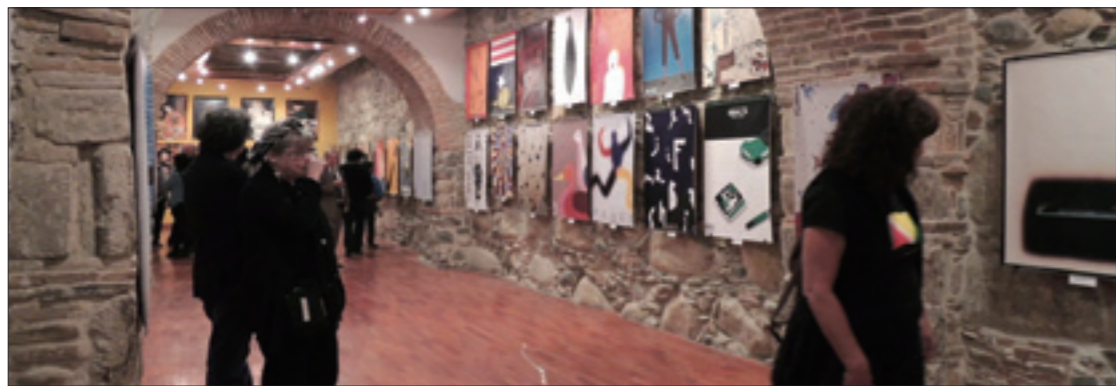
APMポスターコレクション 11月18日(水)~28日(土)

ボリビア国際ポスタービエンナーレ2015

「日本のイラストレーションポスター展 -CALTEL ILUSTRADO EN JAPÓN」



〒940-1106 新潟県長岡市宮内2-10-8  
TEL 0258-39-1233



2015年11月、秋山孝ポスター美術館長岡 (APM) のポスターコレクションによる展覧会「日本のイラストレーションポスター展」をボリビア多民族国・ラパスのボリビア国際ポスタービエンナーレ2015 (Bielal del Cartel Bolivia BICeBé 以下、BICeBé) において開催した。

世界で代表的なポスター展に、ワルシャワ国際ポスタービエンナーレ、ラハティ国際ポスタートリエンナーレ、メキシコ国際ポスタービエンナーレなどがあるが、BICeBéは、2009年から始められた新しいポスター展である。コミティーのメンバーは13名で、主にボリビア国内のグラフィックデザイナーやイラストレーターを中心に構成されているが、その一員にはメキシコ国際ポスタービエンナーレのディレクターであるハビエル・ベルムデスを迎えている。他に、アルゼンチン、ペルー、コロンビアからもひとりずつメンバーが加わっていて、ラテンアメリカが連合した構成になっている。主催者の代表は、スサナ・マチャオ氏で、現在40代になったばかりの若手グラフィックデザイナーである。若い世代が中心になって運営されていることは、他のポスタービエンナーレにはまだ見られない大きな特徴といえる。ビエンナーレ会期中は、国際ポスターコンペティションの開催と入選した作品による展覧会をメインイベントに関連企画展が街中で行われる。また、ラパス市内のホールで各国のクリエイターや美術館の代表者たちによる講演会が開催される。また、市内の大学の協力のもとデザイン教育のシンポジウムが行われ、現地の学生に対してポスター制作に関連した内容の教育プログラム(ワークショップ)が行われる。教育プログラムを開催することは、同じ南米大陸の先輩格であるメキシコ国際ポスタービエンナーレと同じスタイルをとっている。

本展開催の経緯は、2015年4月にスサナ氏から日本のポスター展を開催することはできないだろうかという相談があったことによる。そこで、APMが収蔵しているコレクションの中から50点を選び、BICeBéと共に企画展を開催することになった。このコレクションは、2005年、多摩美術大学創立70周年記念事業の一環として「東方のイラストレーションポスター 中国・韓国・日本」という共同研究が立ち上げられたことを発端としている。研究資料収集として集められた作品は、2007年に多摩美術大学美術館で発表を行った後、半数以上をAPMに収蔵している。

日本のポスター作品には、元来から豊かなイラストレーション表現が用いられてきて、それが現代にまで続く大きな特徴になっている。そのことをボリビア国際ポスタービエンナーレを通して展覧会をご覧になった多くのラテンアメリカの方々にご理解いただけたのではないかと思います。(たかだみつみ・APM学芸員)

※ ボリビア (正式名称はボリビア多民族国) : 南米大陸のほぼ中央に位置し、ブラジル、パラグアイ、アルゼンチン、チリ、ペルーと国境を接した海のない内陸国である。国土は日本の約3倍で、主要都市の半分近くが標高2000m~4000mという高地に位置している。人口約1,003万人、その構成は非先住民に対して先住民が過半数を占めるという、南米の中でも特に先住民の人口が多い国といえる。

● ボリビア国際ポスタービエンナーレ (BICeBé) のURL <http://www.bicebolivia.com/exhibiciones-bicebe-2015>

Takashi AKIYAMA Poster Museum Nagaoka 2016-03-15

# APM news 146

## 秋山孝ポスター美術館 長岡

歴史的建造物・金庫扉と雁木のある美術館 (旧北越銀行宮内支店)

新作ポスター解説 秋山孝長岡コレクション 「マイ・スキップ」連載記事 2015年12月号 vol.179

## 70th Anniversary of the Bombing of Hiroshima and Nagasaki in August of 1945



〒940-1106 新潟県長岡市宮内2-10-8  
TEL 0258-39-1233

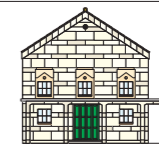
Takashi Akiyama Poster Museum Nagaoka

### 秋山孝長岡コレクション 162

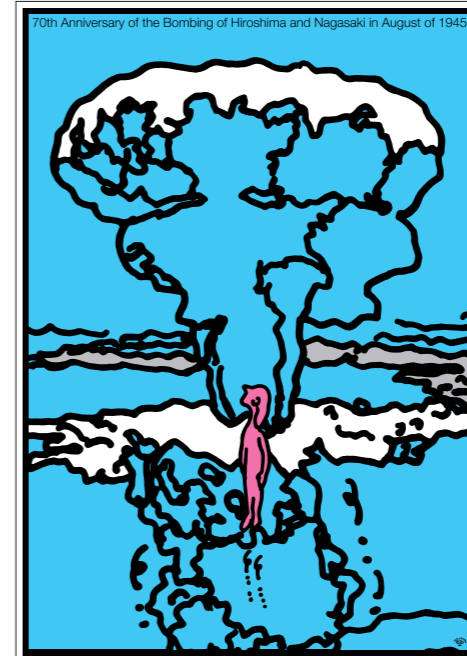
長岡出身の秋山氏が自作を語る・マイスキップ誌上展  
<http://www.tamabi.ac.jp/gurafu/akiyama/>



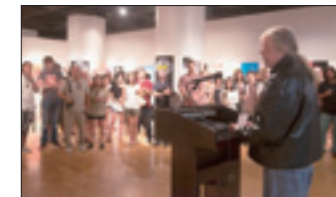
**秋山 孝** 多摩美術大学教授・秋山孝ポスター美術館長岡/館長  
1952年長岡市生まれ。多摩美術大学卒業。東京藝術大学大学院修了。2009年「秋山孝ポスター美術館長岡」、2013年「秋山孝ポスター美術館長岡・展」が完成。1986年、自然保護ポスター「WILD LIFE-HELP」でワルシャワ国際ポスタービエンナーレ・金賞を受賞し、1998年、インド核実験反対のポスターで国連賞を受賞。他、多数受賞。フィンランド、メキシコ、イタリア、ウクライナ、中国、アメリカ、ポーランド、他で国際ポスター展の審査員として招聘。著書に「Chinese Posters (中国ポスター)」、(朝日新聞出版)、「イラストレーションスタディーズ」(玄光社)他多数。



秋山孝ポスター美術館長岡  
<http://apm-nagaoka.com/>



[Title] ----- 70th Anniversary of the Bombing of Hiroshima and Nagasaki in August of 1945  
[Size] ----- 1030 x 728 mm (B1)  
[Technique] --- Offset printing  
[Date] ----- 2015  
[Client] ----- メリーランド大学、コロラド州立大学、マサチューセッツ芸術大学  
[Category] --- 社会  
[Idea] ----- 人間が天に吸い込まれていく一瞬の時間を表現した。



オープニングセレブレーション風景  
メリーランド大学アートギャラリー/2015年9月2日



秋山孝ポスター美術館長岡 現在、冬期休館中です。  
春4月16日(土)より、「宮内・巖田屋百景展2」が始まります。  
Tel, Fax : 0258-39-1233 E-mail : [info@apm-nagaoka.com](mailto:info@apm-nagaoka.com)

CLOSE



Takashi AKIYAMA Poster Museum Nagaoka 2016-03-25

# APM news 147

## 秋山孝ポスター美術館 長岡

歴史的建造物・金庫扉と雁木のある美術館 (旧北越銀行宮内支店)



〒940-1106 新潟県長岡市宮内2-10-8  
TEL 0258-39-1233

### 長岡造形大学 地域協創演習 in APM

**「すずめ隊」** 履修者:石坂真奈美、伊藤理穂、内田一秋、下平美里(長岡造形大学3年)  
指導:たかだみつみ、御法川哲郎



昨年度から実施している、秋山孝ポスター美術館長岡 (APM) と長岡造形大学 (造形大) との連携授業「地域協創演習」に今年度は4名の学生が参加した。地域協創演習とは、造形大独自のカリキュラムであり、地域社会及び企業と、学生・教員が力を合わせた知的価値、地域価値、企業価値を創造することを目標に掲げている。APMにおける地域協創演習は、学生チーム「すずめ隊」として、APMの活動をサポートする。APMの活動に参加・実践することで、美術館の本質を学ぶことを目的としている。

基本的にAPMが今年度行なった全ての企画に参加したが、今年度のすずめ隊の活動の軸は、APMワークショップとした。当日のサポートスタッフとして参加するだけでなく、事前の企画会議、準備、参加者集め、片付けまで、ワークショップに関わる一連の動き全てに関わり、APMが掲げるワークショップ憲章への理解を深めた。集大成として、10月17日(土)にすずめ隊中心のワークショップを行なった。企画、準備、当日の進行までの全てを彼ら自身で行なった。普段のワークショップを運営しているAPM学芸員・たかだみつみは指導役に徹した。

まず、全員に企画書を提出させ、その中から最もAPMワークショップ憲章に沿った企画を選び、それを元に意見交換を重ね、企画をブラッシュアップしていった。今回実行した企画は「技法で絵本〜ふしぎ!左右対称の絵本をつくらう〜」と題し、デカルコマニーという絵画技法を使用し、色を学び、作品を本という形に昇華するという内容であった。(詳しくはAPM Workshop news 010を参照)1つのことを実行するには、想像以上に事前準備に時間、労力が必要であること。人を集めることの難しさ。複数人を相手に予定通り進行することの難しさ。チームの中での自分の役割の見極めなど、実体験を通して学んだことは多いのではないだろうか。

その他の企画では、会場設営、受付、片付けなどを行なった。美術館大学では、サポート活動だけではなく聴講し、ポスターの美・表現について学んだ。

APMは様々な人が関わっている。ワークショップへの参加者は子どもが多いが、美術館大学・懇親会では大人が主となる。また、周辺地域の方、遠方からいらっしゃる方、多摩美術大学の学生など、職業や年齢も多岐に渡る。普段の彼らの生活圏には無い環境や人々と接することで、良い刺激を受け、吸収し、表現活動や社会へ出た際に活かされるはずである。

「すずめ隊」は来年度以降も続いていく予定だ。まだ始まったばかりのチームであるが、APMの強力な新たなサポートチームとして定着していくことを目指している。(たかだみつみ・APM学芸員)

### [ APM事業活動記録 ]

#### 2009年度 (2009.4~2010.3)

- 7.11.sat / APM開館
- 7.12.sun-10.9.fri / 第1回企画展「秋山孝ポスター展」
- 7.12.sun / 第1回美術館大学「自作を語る」/ 講師:秋山孝
- 8.1.sat / 第2回美術館大学「理解者を求めて」/ 講師:秋山孝
- 9.4.fri / 第1回APM課外授業「見学 in APM」/ 新潟デザイン専門学校生
- 9.4.fri / 第3回美術館大学「建築構造の美1」/ 講師:斎藤公男、秋山孝 / 受講者:35名
- 10.12.mon-10.31.sat / 第2回企画展「メッセージイラストレーションポスター展」
- 10.12.mon / 第2回APM課外授業「メッセージイラストレーションポスター展 講評会」/ 多摩美大学院生・卒業生 / 講師:秋山孝 / 参加者:7名
- 10.13.tue / 第3回APM課外授業「APMとは」/ 美術館大学・特別講義 / 講師:秋山孝 / 参加者:17名
- 10.17.sat / 第4回美術館大学「プランニングと創作活動の情熱」/ 講師:牧野圭一、秋山孝 / 受講者:36名
- 12.18.fri, 21.mon / 第4回APM課外授業「あなたならどう読む?ポスターにこめられたメッセージ」/ 教職12年経験者研修 教科別研修3「図画工作」/ 上組小6年生 / 指導教諭:金澤健志
- 1.25.mon / 第3回長岡市都市景観賞「守る」部門受賞

#### 2010年度 (2010.4~2011.3)

- 4.11.sun / 2010年度運営委員会、サポーターズ倶楽部役員会合同会議
- 4.16.fri-6.30.wed / 第3回企画展 秋山孝ポスターコレクション研究1「中国ポスター展」
- 5.1.sat / 第5回美術館大学「秋山孝 中国ポスターを語る」/ 講師:秋山孝 / 受講者:30名
- 7.10.sat-9.23.thu / 第4回企画展「秋山孝ポスター展2」
- 7.10.sat / 第6回美術館大学「秋山孝 自作を語る」/ 講師:秋山孝 / 受講者:65名
- 7.10.sat / APM1周年記念懇親会
- 7.21.wed / 第5回APM課外授業「町探検 in APM / 秋山孝ポスター展2」/ 上組小2年生 / 指導教諭:柳宏美 / 参加者:36名
- 8.2.mon / 第7回美術館大学「中越大地震と創造的復興+APMリノベーション」/ 講師:渡辺斉、高田清太郎、秋山孝 / 受講者:45名
- 8.19.tue / ホクギン宮内支店90周年記念講演会「APMの魅力」/ 講師:秋山孝 / 受講者:45名
- 9.29.wed / 第6回APM課外授業「見学 in APM」/ 長岡市立石坂小学校 / 参加者:7名
- 10.2.sat / 第8回美術館大学「長岡市立上組小学校美術館大学 教育・美・感動」/ 講師:池上秀敏、金澤健志、水谷徹平、秋山孝 / 受講者:48名
- 10.3.sun-10.31.sun / 第5回企画展「メッセージイラストレーションポスター展2」
- 10.27.wed / 第7回APM課外授業「鑑賞授業 in APM」/ 上組小6年生 / 指導教諭:金澤健志 / 参加者:約90名
- 11.23.tue / ギター演奏会(崑山ギター教室「2010 ぎたあ 吉他 Guitar」) / 演奏・講師:崑山徳雄
- 12.8.wed / 第9回美術館大学「テングリクタワー」「100年の風・リプツの月」講師:秋山孝、「私にとっての構造デザイン」講師:斎藤公男 / 受講者:57名

#### 2011年度 (2011.4~2012.3)

- 4.16.sat / 2011年度運営委員会、サポーターズ倶楽部役員会合同会議
- 4.16.sat-6.30.thu / 第6回企画展 秋山孝ポスターコレクション研究2「Voices in Freedom 展」 in 長岡
- 4.16.sat / 第10回美術館大学「メキシコのポスター世界」/ 講師:U.G.サトー、リンダ・リト、秋山孝 / 受講者:46名
- 6.22.wed / 1,000,000人のキャンドルナイト in APM / 企画:(株)高田建築事務所 / 参加者:50-60名
- 6.30.thu-7.10.sun / 博物館実習 in APM / 実習者:熊倉緑(造形大)、藤田みり(造形大)
- 7.9.sat-9.23.fri / 第7回企画展「秋山孝ポスター展3」
- 7.9.sat / 第11回美術館大学「長岡の教育の歴史」/ 講師:稲川明雄、秋山孝 / 受講者:64名
- 7.9.sat / APM2周年記念懇親会 / 参加者:69名
- 7.13.wed / 第8回APM課外授業「町探検 in APM / 秋山孝ポスター展3」/ 上組小2年生 / 指導教諭:柳宏美 / 参加者:23名
- 8.3.wed / 第12回美術館大学「夢を抱いて明日に希望を!」/ 講師:豊口協、秋山孝 / 受講者:65名
- 8.5.fri / 第51回関東甲信静地区造形教育研究大会・新潟大会 美術館研修
- 8.24.wed / 日本建築学会大会・建築デザイン発表会「建築vsモノづくり」部門受賞
- 10.1.sat-10.31.mon / 第8回企画展「メッセージイラストレーションポスター展3」
- 10.1.sat / 第13回美術館大学「長岡のデザイン教育」/ 講師:木村保夫、秋山孝 / 受講者:43名
- 10.8.sat / 第9回APM課外授業「My タワー」/ まちかど美術館2011 / 上組小6年生 / 会場:宮内商店街、APM / 企画:上組小 / 協力:(株)高田建築事務所、APM / 参加生徒:97名
- 10.26.wed / 第10回APM課外授業「メッセージポスターがどんなことを言っているか想像しよう、返事をしよう」/ 上組小3年生 / 指導教諭:金澤健志 / 参加者:約90名
- 11.23.wed / 崑山ギター教室・演奏会 / 講師・演奏:崑山徳雄
- 2.6.mon / キャンドルナイト in 宮内 / 会場:宮内商店街、APM / 企画:上組小6年生

#### 2012年度 (2012.4~2013.3)

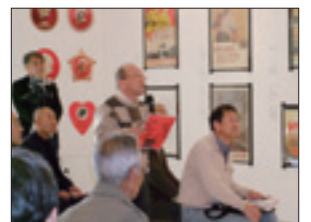
- 4.21.sat / 2012年度運営委員会、サポーターズ倶楽部役員会合同会議
- 4.21.sat-6.24.sun / 第9回企画展 秋山孝ポスターコレクション研究3「ノーマークシマ」



2009.7.11.sat / APM開館 テープカット



2009.7.12.sun-10.9.fri / 第1回企画展「秋山孝ポスター展」



2010.5.1.sat / 第5回美術館大学「秋山孝 中国ポスターを語る」



2010.8.2.mon / 第7回美術館大学「中越大地震と創造的復興+APMリノベーション」



2011.6.30.thu-7.10.sun / 博物館実習 in APM



2011.8.3.wed / 第12回美術館大学「夢を抱いて明日に希望を!」



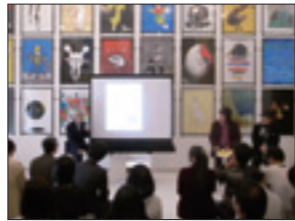
2011.8.5.fri / 第51回関東甲信静地区造形教育研究大会・新潟大会 記念講演



- 4.21.sat / 第14回美術館大学「『ノー・モア・フクシマ』について」 / 講師:U.G.サトー、福田毅、高田清太郎、秋山孝 / 受講者:46名
- 5.18.fri / 第11回APM課外授業「原発ポスター講習会」 / 造形大・御法川研究室 / 参加者:10名
- 6.15.fri / 第12回APM課外授業「地震ポスター講習会1」 / 造形大・御法川研究室 / 参加者:10名
- 6.21.thu / 1,000,000人のキャンドルナイト in APM / 企画:(株)高田建築事務所 / 参加者:64名
- 6.24.sun-7.8.sun / 博物館実習 in APM / 実習者:阿部春花(造形大)、庭野真梨子(造形大)
- 7.7.sat / 第13回APM課外授業「地震ポスター講習会2」 / 造形大・御法川研究室 / 参加者:10名
- 7.7.sat-9.23.sun / 第10回企画展「越後百景十選」秋山ポスター展4
- 7.7.sat / 第15回美術館大学「『越後百景十選』について」 / 講師:河田博、秋山孝 / 受講者:72名
- 7.7.sat / APM3周年記念懇親会 / 参加者:68名
- 7.8.sun / 第14回APM課外授業「ポーランドポスターについて」 / 多摩美大学院生・卒業生 / 講師:秋山孝、御法川哲郎 / 参加者:26名
- 7.18.wed / 第15回APM課外授業「町探検 in APM / 『越後百景十選』秋山ポスター展4」 / 上組小2年生 / 指導教諭:関谷暁代 / 参加者:38名
- 8.3.fri / 第16回美術館大学「ワルシャワ国際ポスタービエンナーレについて」 / 講師:甲賀正彦、御法川哲郎、秋山孝 / 受講者:67名
- 10.6.sat-10.31.wed / 第11回企画展「メッセージイラストレーションポスター展4」
- 10.6.sat / 第17回美術館大学「新企画2013『高田清太郎の建築デザイン哲学』と『ポーランドポスターの巨匠展』について」 / 講師:高田清太郎、御法川哲郎、秋山孝 / 受講者:44名
- 10.6.sat / 第16回APM課外授業「なりたい自分」 / まちかど美術館2012 / 上組小6年生 / 会場:宮内商店街、APM / 企画:上組小 / 協力:(株)高田建築事務所、APM / 参加生徒:76名
- 10.7.sun / 第17回APM課外授業「メッセージイラストレーションポスター展4について」 / 多摩美大学院生・卒業生 / 講師:秋山孝、御法川哲郎 / 参加者:24名
- 11.17.sat / 朝飯会・まちづくり講演会 / 講師:高田清太郎 / 参加者:13名
- 2.9.sat / 第18回APM課外授業 長岡市立上組小学校アートイベント「上組地域への感謝の会」 / 会場:宮内駅〜宮内商店街、APM / 企画:上組小6年生 / 協力:(株)高田建築事務所、APM / 指導教諭:神谷典男 / 入館者:138名(上組小6年生含む)

## 2013年度 (2013.4~2014.3)

- 4.20.sat / 2013年度運営委員会、サポーターズ倶楽部役員会合同会議
- 4.20.sat-5.25.sat / 第12回企画展「秋山孝が選んだ高田清太郎の30の金言『高田清太郎の建築デザイン哲学』展」
- 4.20.sat / 第18回美術館大学「秋山孝が選んだ高田清太郎の30の金言『高田清太郎の建築デザイン哲学』について」 / 講師:高田清太郎、秋山孝 / 受講者:73名
- 5.1.wed / 「社聴熟」 / 株式会社 高田建築事務所 / 参加者:53名
- 5.2.thu / 第19回APM課外授業「つながろう〜アートを通して広がる世界・広がる生き方〜」 / 上組小6年生 / 参加者:98名
- 6.1.sat-6.29.sat / 第13回企画展 秋山孝ポスターコレクション研究4「『ポーランドの巨匠 in 長岡』展」
- 6.1.sat / 第19回美術館大学「『ポーランドポスターの巨匠 in 長岡』について」 / 講師:御法川哲郎、秋山孝 / 受講者:68名
- 6.2.sun / 第20回APM課外授業「『ポーランドポスターの巨匠 in 長岡』について」 / 多摩美大学院生・卒業生 / 講師:秋山孝、御法川哲郎 / 参加者:28名
- 6.17.mon-6.21.fri, 7.1.mon-7.7.sun 計10日間 ※6.18.tue, 7.2.tue休館 / 長岡造形大学「博物館実習」 in APM / 実習者:海津紗弥香、杉山沙織、須佐葉月、鈴木智里、堀内まりえ
- 7.6.sat-9.23.mon / 第14回企画展「メッセージイラストレーションポスター十四選『声なき声を聞く』秋山ポスター展5」
- 7.6.sat / 第1回APMワークショップ「多色刷木版画でポストカードをつくろう!」 / 会場:APM蔵 / 講師:たかだみつみ / 参加者:20名(他見学者:5名)
- 7.6.sat / 第20回美術館大学「メッセージイラストレーションポスター十四選『声なき声を聞く』秋山ポスター展5について」 / 講師:秋山孝 / 受講者:60名
- 7.6.sat / APM4周年記念懇親会 / 参加者:51名
- 7.7.sun / 第21回APM課外授業「メッセージイラストレーションポスター十四選『声なき声を聞く』秋山ポスター展5について」 / 多摩美大学院生・卒業生 / 講師:秋山孝 / 参加者:28名
- 8.3.sat / 第21回美術館大学 第1部「秋山孝 自作を語る3」、第2部「我 斯く 建築に向かう」 / 講師:第1部 秋山孝、第2部 平山育男 / 受講者:63名
- 8.22.thu / 第2回APMワークショップ1「ステンシルでオリジナルうちわ作り」 / 会場:APM / 講師:たかだみつみ / 参加者:2名
- 8.24.sat-29.thu / 第2回APMワークショップ2「夏休みFinalワークショップ祭り」 / 会場:APM / 講師:たかだみつみ / 参加者:3名
- 9.11.wed / 第22回APM課外授業「町探検 in APM / メッセージイラストレーションポスター十四選『声なき声を聞く』秋山ポスター展5」 / 上組小2年生 / 指導教諭:笠井英美子 / 参加者:25名
- 10.5.sat-10.31.thu / 第15回企画展「メッセージイラストレーションポスター展5」
- 10.5.sat / 第3回APMワークショップ「機那サフラン酒本舗絵巻柄 蔵書票をつくる」 / 会場:APM、APM蔵 / 講師:たかだみつみ / 参加者:4名
- 10.5.sat / 第22回美術館大学「東京装画賞について」 / 講師:末房志野、御法川哲郎、秋山孝 / 受講者:51名
- 10.6.sun / 第23回APM課外授業「『メッセージイラストレーションポスター展5』講習会」 / 多摩美大学院生・卒業生 / 講師:秋山孝 / 参加者:26名
- 10.19.sat / 第4回APMワークショップ「APMハロウィン仮装パーティー!!!」 / 会場:APM、APM蔵、宮内商店街 / 講師:たかだみつみ / 参加者:8名(他保護者6名)



2012.4.21.sat / 第14回美術館大学「『ノー・モア・フクシマ』について」



2012.6.24.sun-7.8.sun / 博物館実習 in APM



2012.8.3.fri / 第16回美術館大学「ワルシャワ国際ポスタービエンナーレについて」



2013.2.9.sat / 上組小学校アートイベント「上組地域への感謝の会」



2013.4.20.sat / 第18回美術館大学「『高田清太郎の建築デザイン哲学』について」



2013.6.1.sat / 第19回美術館大学「『ポーランドポスターの巨匠 in 長岡』について」



2013.7.6.sat / 第1回APMワークショップ「多色刷木版画でポストカードをつくろう!」

- 10.25.fri-11.1.fri / 上組小 こだま美術館 第31回企画展「地域に感謝 未来に翔(は)ばたけ 秋山孝ポスター美術展」 / 会場:上組小 こだま美術館
- 10.25.fri / 第24回APM課外授業「小学生美術館大学」(上組小 こだま美術館 第31回企画展「地域に感謝 未来に翔(は)たけ 秋山孝ポスター美術展」(関連企画)) / 上組小6年生 / 講師:秋山孝 / 受講者:102名
- 12.15.sun / 第5回APMワークショップ「美術館をクリスマスデコレーション!」 / 会場:APM / 講師:たかだみつみ / 参加者:2名
- 2.22.sat / 第25回APM課外授業「ありがとうアート 〜わたしのま〜」(上組小、APM連携展覧会) / 会場:APM / 企画:上組小6年生 / 協力:(株)高田建築事務所 / 指導教諭:黒井美智子 / 入館者:74名(上組小6年生含む)

## 2014年度 (2014.4~2015.3)

- 4.19.sat / 2014年度運営委員会、サポーターズ倶楽部役員会合同会議
- 4.19.sat-6.30.sat / 第16回企画展「宮内・榎田屋百景 展」
- 4.19.sat / 第23回美術館大学「『宮内・榎田屋百景』について1」 / 講師:御法川哲郎、大町駿介、たかだみつみ、秋山孝 / 受講者:63名
- 5.2.fri / 第26回APM課外授業「APM見学」「宮内・榎田屋百景 展」 / 上組小6年生 / 参加者:103名
- 5.31.sat / 第6回APMワークショップ「小国和紙でつくるペーパーウェイト」 / 会場:APM蔵 / 講師:たかだみつみ / スタッフ:APMすずめ隊(長岡造形大学生)6名 / 参加者:18名
- 5.31.sat / 第24回美術館大学「『宮内・榎田屋百景』について2」 / 講師:高田清太郎、大町駿介、秋山孝 / 受講者:64名
- 6.1.sun / 第27回APM課外授業 / 多摩美術大学大学院生・卒業生 / 講師:秋山孝、御法川哲郎 / 参加者:19名
- 6.6.wed-6.13.mon, 7.2.wed-7.6.mon, 7.12.sat-7.13.sun 計14日間 ※6.10.tue休館 / 長岡造形大学「博物館実習」 in APM / 実習者:竹下夏生
- 7.12.sat / APM開館5周年記念式典・祝賀会
- 7.12.sat / APM蔵 特別公開「秋山孝 学生時代の習作展」 / 来場者:133名
- 7.13.sun-9.22.mon / 開館5周年記念 第17回企画展「秋山孝ポスター展6」
- 7.13.sun / 第28回APM課外授業「美術館とは」 / 多摩美術大学大学院生・卒業生、長岡造形大学生 / 講師:秋山孝 / 参加者:33名
- 8.2.sat-8.3.sun / APM蔵 特別公開「秋山孝 学生時代の習作展」 / 来場者:33名
- 8.5.tue / 第25回美術館大学「もりもり鼎談:2013年度日本建築学会北陸支部 文化賞2作品(マルの杜とリブチの森)について」 / 講師:山下秀之、高田清太郎、秋山孝 / 受講者:93名
- 10.4.sat-10.31.fri / 第18回企画展「メッセージイラストレーションポスター展6」
- 10.4.sat / APM蔵 特別公開「秋山孝 学生時代の習作展」 / 来場者:43名
- 10.11.sat / 第26回美術館大学「ブル/国際グラフィックデザインビエンナーレについて」 / 講師:柏大輔、秋山孝 / 受講者:52名
- 10.12.sun / 第29回APM課外授業「理解とは何か」 / 多摩美術大学大学院生・卒業生 / 講師:秋山孝 / 参加者:29名
- 10.23.thu / 第1回一流美術館大学 / 会場:APM蔵 / 参加者:9名
- 10.24.fri / 富山市デザイン協議会「APM視察訪問」 / 会場:APM、APM蔵 / 富山市デザイン協議会 / 参加者:20名
- 10.25.sat / 第7回ワークショップ「おがくずオパケちゃんを作ろう!」 / 会場:APM蔵 / 講師:たかだみつみ / スタッフ:APMすずめ隊(長岡造形大学生)5名 / 参加者:26名
- 11.15.sat / 中越地区研修会訪問「APM活動について」 / 会場:APM蔵、APM / 参加者:13名
- 12.4.thu / 長岡造形大学 特別講義「地震ポスター支援プロジェクトについて」 / 講師:秋山孝、澤田雅浩、御法川哲郎 / 会場:長岡造形大学104教室 / 受講者:29名
- 12.4.thu / 第2回一流美術館大学 / ゲスト:椿智彦、澤田雅浩 / 会場:APM蔵 / 参加者:20名
- 1.6.tue-1.30.fri / 北越銀行本展営業部ロビー展示「APM蔵」
- 2.28.sat / 第30回APM課外授業「ありがとうアート『成長した私』」(上組小、APM連携展覧会) / 会場:APM / 企画:上組小6年生 / 協力:(株)高田建築事務所 / 指導教諭:中村周 / 入館者:24名(上組小6年生含む)

## 2015年度 (2015.4~2016.3)

- 4.18.sat / 2014年度運営委員会、サポーターズ倶楽部役員会合同会議
- 4.18.sat-6.29.mon / 第19回企画展「イラストレーション・ダイアログ」展 6年間の試み
- 4.18.sat / 第27回美術館大学「イラストレーション・ダイアログについて1」 / 講師:高橋庸平、伊藤彰剛、末房志野、高橋真理、秋山孝 / 受講者:41名
- 4.19.sun / APM蔵 特別公開「秋山孝 学生時代の習作展」 / 来場者:19名
- 5.29.fri / 第30回APM課外授業「APM見学」「イラストレーション・ダイアログ」展 6年間の試み / 上組小6年生 / 参加者:76名
- 5.30.sat / 第28回美術館大学「イラストレーション・ダイアログについて2」 / 講師:高橋庸平、小川雄太郎、御法川哲郎、千田昇平、秋山孝 / 受講者:61名
- 5.31.sun / 第31回APM課外授業「秋山孝 学生時代の習作展について」 / 多摩美術大学大学院生・卒業生 / 講師:秋山孝 / 参加者:33名
- 6.27.sat / 第8回ワークショップ「家族の肖像画を描いてみよう」 / 会場:APM / 参加者:6名
- 7.11.sat-9.26.sat / 第20回企画展 秋山孝の神秘「メタファー」展
- 7.11.sat / APM蔵 特別公開 特別展「秋山孝 学生時代の習作展」 / 来場者:18名
- 7.11.sat / 第29回美術館大学「秋山孝の神秘『メタファー』について」 / 講師:秋山孝、たかだみつみ / 受講者:44名
- 7.11.sat / APM6周年記念懇親会 / 参加者数:43名



2013.10.6.sun / APM課外授業「『メッセージイラストレーションポスター展5』講習会」



2014.4.19.isat-6.30.mon / 第16回企画展「宮内・榎田屋百景展」



2014.7.12.sat / APM「開館5周年記念式典」



2014.10.24.fri / 富山デザイン協議会 APM視察訪問



2014.12.4.thu / 長岡造形大学 特別講義「地震ポスター支援プロジェクトについて」



2015.4.18.sat / 第27回美術館大学「イラストレーション・ダイアログについて1」



2015.9.12.sat / 「日本ブックデザイン賞2015」授賞式



- 8.2.sun, 3.mon / 長岡まつり記念 APM蔵 特別公開「秋山孝の習作展」/ 来場者:13名
- 8.5.wed / 第30回美術館大学「撰田屋まちづくり協議会策定のまちづくり協定について」/  
講師:渡辺誠介、高田清太郎、秋山孝 / 受講者:76名
- 8.8.sat / 第9回ワークショップ「ポスターをつくってみよう〜ぼく、わたしの夏2015〜」/ 会場:APM / 参加者:12名
- 9.6.sun-9.26.sat / 特別展 日本ブックデザイン賞2015展
- 9.12.sat / 日本ブックデザイン賞2015授賞式 / 出席者:97名
- 9.12.sat / APM蔵 特別公開「秋山孝の習作展」/ 来場者:0名
- 10.3.sat-10.31.sat / 第21回企画展「メッセージイラストレーションポスター展7」
- 10.3.sat / APM蔵 特別公開「秋山孝の習作展」/ 来場者:6名
- 10.3.sat / 第31回美術館大学「日本ブックデザイン賞2015について」/ 講師:末房志野、大町駿介、柏大輔、秋山孝 / 受講者:55名
- 10.17.sat / 第10回ワークショップ 長岡造形大学地域協創演習「技法でえほん〜ふしぎ!左右対称の絵本を作ろう〜」/  
会場:APM / 参加者:9名
- 11.26.thu / 長岡造形大学講義 1.「地震ポスター支援プロジェクトについて」、2.「作品講評会」/  
講師:1.秋山孝、2.秋山孝、甲賀正彦、御法川哲郎 / 会場:1.長岡造形大学102教室、2.長岡造形大学1Fギャラリー / 受講者:42名
- 11.26.thu / 第3回一流美術館大学 / ゲスト:甲賀正彦、高田清太郎 / 会場:APM蔵 / 参加者:19名
- 3.11.fri / APMの建物を登録有形文化財に登録するよう、国の文化審議会が文部科学省に答申

※ 略称について / APM:秋山孝ポスター美術館長岡、多摩美:多摩美術大学、造形大:長岡造形大学、上組小:長岡市立上組小学校  
※ 美術館大学の受講者について / 人数は講師を含む

## 【美術館大学】

開催年	回数	タイトル	講師	受講者数
2009	第01回	「自作を語る」	①	90
	第02回	「理解者を求めて」	①	80
2010	第03回	「建築構造の美1」	①②	35
	第04回	「プランニングと創作活動の情熱」	①③	36
	第05回	「秋山孝 中国ポスターを語る」	①	30
	第06回	「秋山孝 自作を語る」	①	65
	第07回	「中越大地震と創作的復興+APMリバージョン」	①④⑤	45
	第08回	「上組小学校美術館大学 教育・美・感動」	①⑥⑦⑧	48
2011	第09回	「テンスグリクタワー」「リプチの月」	①②	57
	第10回	「メキシコのポスター世界」	①⑨⑩	46
	第11回	「長岡の教育の歴史」	①⑪	64
	第12回	「夢を抱いて明日に希望を!」	①⑫	65
2012	第13回	「長岡のデザイン教育」	①⑬	43
	第14回	「ノー・モア・フクシマ」	①⑮⑯⑰	46
	第15回	「『越後百景十選』について」	①⑮	72
	第16回	「ワルシャワ国際ポスタービエンナーレ」	①⑱⑲	67
	第17回	「『高田清太郎の建築デザイン哲学』と『ポーランドポスターの巨匠展』」	①⑮⑲	44
2013	第18回	「高田清太郎の建築デザイン哲学」	①⑮	73
	第19回	「ポーランドポスターの巨匠 in 長岡」	①⑲	68
	第20回	「『声なき声を聞く』秋山孝ポスター展5」	①	60
	第21回	第1部「秋山孝 自作を語る3」 第2部「我 斯く 建築に向かう」	①⑳	63
2014	第22回	「東京装画賞」	①⑲⑳	51
	第23回	「宮内・撰田屋百景-1」	①⑲⑳㉑	63
	第24回	「宮内・撰田屋百景-2」	①⑮⑳	64
	第25回	「日本建築学会北陸支部文化賞2作品」	①⑮㉑	93
2015	第26回	「プルノ国際グラフィックデザインビエンナーレ」	①㉒	52
	第27回	「イラストレーション・ダイアログ-1」	①⑲⑳㉓	45
	第28回	「イラストレーション・ダイアログ-2」	①⑲⑳㉓	61
	第29回	「秋山孝の神秘『メタファー』」	①㉑	44
第30回	「撰田屋まちづくり協議会策定のまちづくり協定」	①⑮㉑	76	



2015.10.17.sat / 第10回ワークショップ・長岡造形大学地域協創演習



2016.3.12.sat / 新潟日報 朝刊 記事「県内30件 有形登録文化財に」

開催年	回数	タイトル	講師	受講者数
	第31回	「日本ブックデザイン賞2015」	①⑱⑳㉑	55
合計				1,801名

※ 美術館大学の受講者について / 人数は講師を含む

## 【一流美術館大学】

開催年	回数	タイトル	講師	参加者数
2014	第01回			9
	第02回	「人ものかたり」地震プロジェクト」	①㉒㉓	20
2015	第03回	「カラヴァッジオ×レンブラント」	①⑮⑰	19
合計				48名

美術館大学、一流美術館大学 講師一覧

- ①秋山孝、②斎藤公男、③牧野圭一、④渡辺斉、⑤高田清太郎、⑥池上秀敏、⑦金澤健志、⑧水谷徹平、⑨U.G.サトー、⑩リンダ・リットー、⑪稲川明雄、⑫豊口協、⑬木村保夫、⑭福田毅、⑮河田博、⑯甲賀正彦、⑰御法川哲郎、⑱平山育男、⑲末房志野、⑳大町駿介、㉑たかだみつみ、㉒山下秀之、㉓柏大輔、㉔高橋庸平、㉕伊藤彰剛、㉖高橋真理、㉗小川雄太郎、㉘千田昇平、㉙渡辺誠介、㉚椿智彦、㉛澤田雅浩

## 【入館者数】

年度(4月～3月)	APM	APM蔵	合計	累計
2009年度	1,980名	—	1,980名	
2010年度	1,034名	—	1,034名	3,014名
2011年度	1,005名	—	1,005名	4,019名
2012年度	1,004名	—	1,004名	5,023名
2013年度	1,344名	—	1,344名	6,367名
2014年度	1,861名	395名	2,256名	8,623名
2015年度	1,983名	173名	2,156名	10,779名

## 2016年「秋山孝ポスター美術館長岡」企画展・美術館大学のご案内

- 第22回企画展「宮内・撰田屋百景展2」/ 4月16日(土)～6月27日(月)
  - ・第32回美術館大学「登録有形文化財について」  
講師:平山育男、秋山孝、大町駿介 / 4月16日(土) pm3:00～4:30
  - ・第33回美術館大学「宮内・撰田屋百景の魅力について」  
講師:秋山孝、堀池真美、大町駿介 / 5月28日(土) pm3:00～4:30
- 第23回企画展 開館7周年記念 秋山孝の神秘2「点と線」展 / 7月9日(土)～9月24日(土)
  - ・第34回美術館大学 / 7月9日(土) pm3:00～4:30
  - ・第35回美術館大学 / 8月4日(水) pm3:00～4:30
- 特別展「日本ブックデザイン賞2016展」/ 9月4日(日)～9月24日(土)
  - ・日本ブックデザイン賞2016 授賞式 / 9月10日(土)
- 第24回企画展「メッセージイラストレーションポスター展8」/ 10月8日(土)～10月31日(月)
  - ・第36回美術館大学 / 10月8日(土) pm3:00～4:30



秋山孝ポスター美術館長岡の建造物は1925年(大正14)に建設されました。以来91年を迎えた歴史的建造物です(長岡市都市景観賞、新潟県建築事務所協会・奨励賞)。国の文化審議会が、APMの建物を登録有形文化財に登録するよう、文部科学省に答申しました。

APM21  
Report-7 2016-2015 Takashi Akiyama Poster Museum Nagaoka

発行日 :2016年4月1日  
発行者 :秋山孝  
発行所 :秋山孝ポスター美術館長岡  
〒940-1106 新潟県長岡市宮内 2-10-8 / Tel,Fax : 0258-39-1233  
E-mail : info@apm-nagaoka.com URL : http://apm-nagaoka.com

編集 / デザイン:秋山孝、御法川哲郎  
印刷所 :東銀座印刷出版株式会社 ※無断で複製、複製および使用を禁ず。

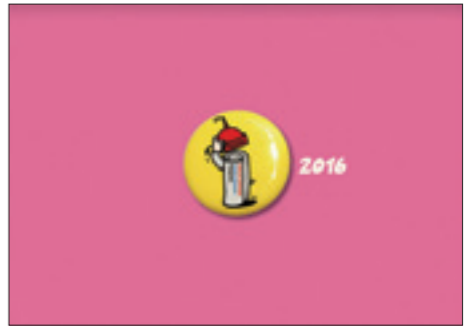
APM21  
Report-7 2016-2015 Takashi Akiyama Poster Museum Nagaoka

Date of issue : 2016.04.01  
Publisher : Takashi Akiyama Poster Museum Nagaoka  
2-10-8 Miyauchi Nagaoka-city Niigata 940-1106 Japan / Tel,Fax : 0258-39-1233  
E-mail : info@apm-nagaoka.com URL : http://apm-nagaoka.com  
Edit / Design : Takashi Akiyama, Tetsuro Minorikawa  
Printed in Higashi-Ginza Insatsu-Shuppan Inc.

© 2016 Takashi Akiyama, Published in Japan by Takashi Akiyama Poster Museum Nagaoka.

All right reserved.No part of this book may be reproduced in any form or by any means, electronic or mechanical,including photocopying or recording, or by any information storage and system, without permission in writing from the publisher.

・中綴じ製本 / A4(天地297×左右210mm) ・表紙・本文:ミューマツト菊Y93.5(北越紀州製紙株式会社)



Takashi Akiyama Poster Museum Nagaoka 2016年カレンダー

- ・開館時間: 午前11時～午後5時まで  
(入館は閉館の30分前まで)
- ・休館日: 火曜日
- ・開館期間: 4月～10月 / 閉館期間: 11月～3月
- ・入館料: 無料

「秋山孝ポスター美術館長岡」 2015年4月1日～2016年3月31日

運営委員会

- 館長: 秋山孝(多摩美術大学教授)  
会長: 豊口協(前長岡造形大学理事)  
副会長: 牧野忠昌(長岡藩牧野家17代当主)  
副会長: 高田清太郎(髙田建築事務所代表取締役社長)  
幹事: 秋山善広(大日本印刷㈱市谷第1営業本部)  
幹事: 中村隆(NPO法人醸造の町撰田屋町おこしの会会長)  
幹事: 高田勉(髙田建築事務所専務取締役)  
幹事: 藤田豊(髙北越銀行宮内支店長)  
監事: 丸山博(NPO法人醸造の町撰田屋町おこしの会副会長)

事務局

- 事務局長: 御法川哲郎(長岡造形大学准教授)  
学芸員: たかだみつみ(長岡造形大学非常勤講師)  
職員: 森山奈帆

サポーターズ倶楽部役員

- 会長: 高田清太郎(髙田建築事務所代表取締役社長)  
顧問: 秋山孝(多摩美術大学教授)  
理事: 覚張良裕(髙田建築事務所専務取締役)  
理事: 小川八重子(髙田建築事務所専務取締役)  
理事: 今井進太郎(グローバルマーケティング㈱代表取締役)  
理事: 山本敦(髙田建築事務所代表取締役)  
理事: 渡辺千雅(My-Skip代表)  
理事: 高田彰(高田屋商店代表取締役社長)  
理事: 平澤広栄(長岡商工会議所)  
監事: 脇屋雄介(長岡移動電話システム㈱代表取締役社長・放送局長)